

♥ 誰もが安心して暮らせる 社会を目指して ♪



年越し信州子ども食堂 2020.12.31



ドローン宙高く

特集 悩みながら継続 コロナ禍の子ども食堂
ニーズ上昇も... 子どもの感染増で苦慮

24H
無料相談
24時間365日
の相談対応



面談同行
生活必需品
支援
(フードバンク)

地域の
「居場所」
信州
子ども食堂

コロナ禍での「共食」と「食育」で

つなぐ 子どもの居場所!



< 本部 事務所 >
松本市寿北5丁目4番 28-1
電話 0263-75-8368
< 各地域拠点事務所 >
長野市三本柳西 2-74 (にっこりFD.B)
電話 080-3418-0088
台風19号被災地 長野市上駒沢 356-102
電話 090-6473-9455
塩尻市大門4番 1-3 福祉の里あじさい
電話 0263-51-5533
中野市 西条 1089
電話 080-3541-7377



♥ 無料相談・問い合わせ 0120-914-99

特定非営利活動法人 NPOホットライン信州

2021年9月30日発行

E-mail: yff52160@nifty.com http://hotline-shinshu.jimdo.com/
団体の設立 2011年3月30日 法人の設立 2014年4月1日
== ★発行責任者 村上晃 ★編集責任者 青木正照 ==



休眠預金を活用した事業です

目 次

- 1 コロナ禍で～広がれ！支えあいの輪 . . . P 1
～ 信州子ども食堂が まちのプラットフォーム ～
コロナ禍での「**共食**」と「**食育**」でつなぐ子どもの居場所
- 2 新型コロナに負けない！ コロナ禍での活動 . . . P 2
- 3 コロナ禍に勝つ！おもしろい心の心
信州子ども食堂応援リレーの紹介 . . . P 45
- 4 こども食堂の作り方 . . . P 66
- 5 メディア関係など . . . P 67
- 6 信州子ども食堂ネットワーク推進
・ 関連団体一覧 . . . P 79
- 7 信州子ども食堂の広がり !! . . . 裏表紙



コロナ禍で～広がれ！支えあいの輪 24H相談ケア生活困難者支援・フードバンク～

面談相談と生活支援から…今 公助が必要！

蔓延する新型コロナ感染拡大は歯止めがかからず、私達の24時間365日の無料相談や支援物資の配布の支援で、社会的に弱い立場に置かれた人が、コロナ禍の影響を受けて更に追い込まれています。

一人で悩んでいませんか？
まずはお電話ください。

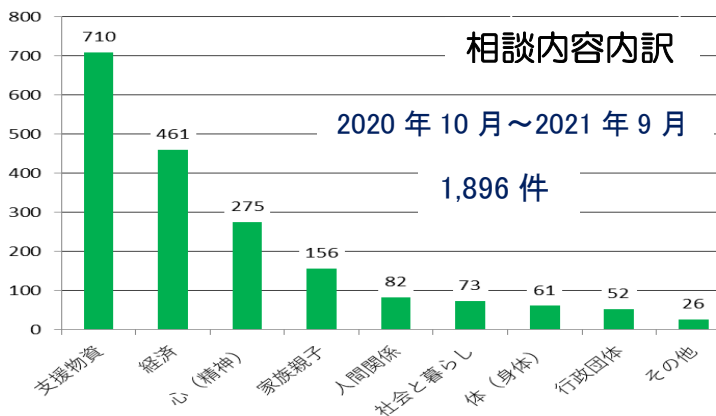
お電話で無料相談 0120-914-994
0263-75-8368

8年間で約3万件の相談

特定非営利活動法人 NPO ホットライン信州

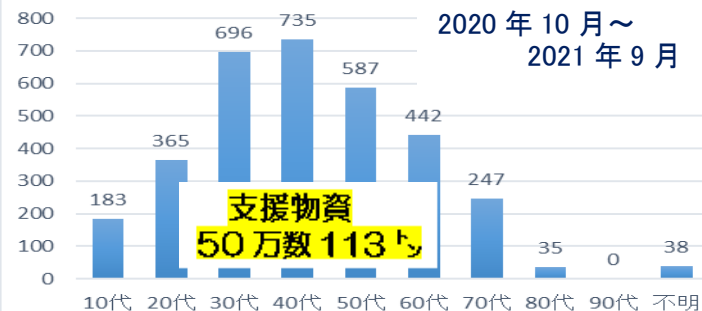
特に母子家庭への支援は増大し「コロナ禍で収入が減り、毎月の出費も増え生活が苦しい。何とかしてほしい…」と切実な訴え！。30代の男性は、派遣切りにあい、車中泊で所持金も千円、体調崩している。働き盛りの人から、「就労できない」「社会に溶け込めず孤立している」「心の病」「先の見えない不安や絶望感に死ぬしかない」等の命を支える支援活動をつづけています。

2008年のリーマンショック後の「年越しきずな村」など大勢集めて炊き出しをした例もありましたが、今は感染防止のため開催できずに深刻さは増大しています。「子ども食堂」の中止も検討したが、必要としている利用者「何とかして欲しい・・・」の切実な訴えを受けて、弁当や食材など工夫しながら支援物資の配布を数十カ所で行っています。



昨今の蔓延する長期化している、新型コロナの影響で、3密を回避した「人との接触機会を減らす」といった、「新しい生活様式」に対応しなければならない、苦境に立たされている中、いまこそ「おもいやりと支えあいの支援は続けいく！」そして「コロナ禍に勝つ！」この言葉を噛みしめて、新たな支援方法を創り出していくことにあります。

面談・食糧・ケアなどの生活支援 3,328 人年代別件数



いったんコミュニティ（就労先・地域共同体等）の枠から外れ孤立すると、容易に戻れません・・・。子どもの頃に育まなかった「他人を信じること」「つながる力・生き抜く力」を成長してから身に着けるのは大変難しく、私たちが懸命に支援をしても一進一退で抜け出せません。しかし、彼らの「生きたい・当たり前で暮らしたい」という切なる心の声を聴き続け、いつでも誰でも気軽に話ができて、皆で集える居場所が地域に必要です。



人と人がつながる場が「子ども食堂」

「子ども食堂」は、「食育」「学び」「学習」「世代交流」「相談」「ケア」など多様性のある課題解決の居場所です。誰もが、居場所と出番(担い手)になれるたまり場です。地域の子どもを皆で育てようと」と多くの人々が集う「コロナ禍にマッチしたコミュニティの居場所」としての「まちのプラットフォーム」にしていこうではありませんか。



信州子ども食堂ネットワークでの1年間の参加者報告件数は、子ども12,649人を含む24,252人。

限界だ！「今こそ公助を」

猛威を振るう新型コロナウイルス感染拡大歯止めが
かからない現状に、社会的に弱い立場に置かれた人
が、コロナ禍で更に追いやられている。

相談や要支援者は増え続け、仕事や住まいを失うな
ど命を支える支援体制も限界が来ている。

今もなお、困窮は増え続け 広がりすぎている！

更なる、倒産や廃業は増え続けるだろう、「自助」と
「公助」では、すでに対応できない限界に来ている。
いまこそ、暮らしを支える「公助」が出番だ！



(2020年11月27日)

「子供と家族・若者応援団表彰」の受賞時に、
坂本哲志内閣府特命大臣(写真右)に、協力要請を
する NPO ホットライン信州 青木正照 専務理事



阿部長野県知事と懇談(2021年1月12日)

長野県阿部知事に、村上理事長他2名が、猛威
を振るうコロナ禍で生活困窮している方の支援
に、食材保管倉庫の設置と食材支援などを要請。



長野県田口代表監事から、懇談の申し入れが
あり、コロナ禍での活動について意見交換

子ども食堂 食材保管万全

(第3種郵便物認可)

県内で子ども食堂を運営するNPO法人「ホットライン信州」(松本市)は、長野市の事務局敷地内に食材保管用の冷蔵機能付きコンテナハウスを設置した。企業などから多くの食材が寄付され、保管の必要があるため。ただ、維持費がかかることになり、青木正照専務理事は「企業や行政の支援が欠かせない」と呼び掛ける。(城石愛麻)

維持費負担増 行政、企業に支援呼び掛け

これまで基本的には常温保存が可能な食材の寄付を呼び掛け、冷蔵が必要な生鮮食品などが寄付された場合は県内各地の拠点に置いた家庭用冷蔵庫に保管。保管しきれなかった食材は、ボランティアスタッフの自宅の冷蔵庫を充てていた。それ以上の寄付があった場合は、断らざるを得なかった。

コンテナハウスは、ホットライン信州の活動に賛同した東京都内の企業と一年間のリース契約をした。県内でさらに三つほどの増設を目指しているが、リース費は年間で二十万円近くかかり、電気代も一カ月に十万円と法人にとって負担が増すことになる。

青木さんと十二日に会談した阿部守一知事は、ホットライン信州への財政支援に前向きな考えを示し、「旅館やホテル、飲食業などで一時休業の動きもあり、一番影響を受ける子どもたちへの食料支援を一緒にやりたい」と話した。

寄付された食材の保管用にホットライン信州が設置した冷蔵機能付きコンテナハウス | 長野市で

コロナ禍 暮らしの困窮 食で応援

松本・NPOホットライン信州 大臣表彰

子ども食堂の開設や二十四時間の無料電話相談など、生活困窮者を支援する松本市の「NPOホットライン信州」が、内閣府の「子供と家族・若者応援団表彰」を受けた。専務理事の青木正昭さん(こうすたつ五人)が二十九日、市役所を訪れ、臥雲義尚市長に喜びを報告した。

(竹内なぎ)



子ども食堂、電話相談 熱意満ちた活動光る

子ども食堂では飲食店から無償で提供してもらった弁当を家庭に配ることもあり、青木さんは「コロナ禍で飲食店は経営が厳しく、無償提供は心苦しい。市が店から買い取るといった支援はできないか」とも話した。臥雲市長は「この団体の活動が大きな輪になるよう、行政がつなげる役割を担いたい」と話した。

臥雲市長に表彰を報告する青木さん(右から二番目)ら。松本市役所

長野県松本振興局長らとコロナ禍で生活困難家庭が増えている中での支援活動について意見交換をした。



松本中央L.C. 来月フードドライブ開催
松本市の松本中央ライフ・オン・スクラブ(L.C.)は、二月六日午前十一時から、家庭の余剰食品を募るフードドライブを県内子ども食堂を運営する同市のNPO法人「ホットライン信州」と共催。コロナ禍で生活に困窮する人が増えているとして、市民に提供を呼び掛ける。

と、新型コロナウィルスの影響で各地で開く子ども食堂の参加者や、生活相談件数は増加している。松本中央L.C.の青木まゆみ会長(右)は「未知のウィルスと戦う中で、食べるのに困っている人が大勢いる。一人でも多くの方に持ってきてもらえれば」と話した。



フードドライブへの参加を呼び掛ける松本中央L.C.のメンバーら=松本中央L.C.事務局で

▼ 臥雲松本市長と懇談 信濃毎日新聞社(1月29日)

内閣府表彰 松本市長に報告 生活弱者ら支援のホットライン信州



受賞を報告する青木さん(右から2人目)ら

生活弱者らを支援するNPO(本市)の役員ら5人が29日、法人ホットライン信州(松本市)の役員ら5人が29日、市役所に臥雲義尚市長を

訪ね、本年度「子供と家族・若者応援団表彰」の内閣府特命担当大臣表彰を受けたことを報告した。新型コロナウィルスの影響が長引く中、活動への行政の後押しも求めた。表彰は若者の育成を支援する団体などが対象。同法人は24時間体制で無料電話相談を受け付け、子ども食堂にも取り組む。青木正昭専務理事(左)は、子ども食堂では感染対策をしながらマスクや支援物資を配っているが、コロナ禍の長期化に伴う支援物資の調達に悩んでいると説明。行政の協力も求めると、臥雲市長は「政策に反映できるように考えたい」と応じた。

令和3年(2021年)1月31日 日曜日 市民タイムス

子供育成で内閣府表彰

ホットライン信州市に報告

生活困窮者の支援に取組むNPO法人ホットライン信州(松本市)の青木正昭専務理事ら5人が29日、松本市役所を訪れた。本年度の内閣府「子供と家族・若者応援団表彰」を受けたことを臥雲義尚市長に報告した。居場所や食事を提供する「子ども食堂」の運営状況と意義も説明した。子供・若者育成支援部門で内閣府特命担当大臣表彰を受けた同法人は、運営・支援をする人は、運営・支援をする「子ども食堂」のネットワークを全県で構築しており、青木専務理事は「(県内)93カ所で行われている」と述べた。新型コロナウィルスの影響で困窮家庭が増え、経済的支援のほか、心のつながりも求められているとした。フードドライブの活動や24時間対応の電話相談(0120・914・994)にも取り組む。



臥雲市長(右)に受賞を報告する青木専務理事(右から2人目)

動に敬意を表し「一つ外れる人がいないように一つの団体がされていくことが大事」と話していた。(浅井文人)

初の桜スクエアでこども食堂

コロナに負けないぞ！

長野市 信州こども食堂 in 青空こども食堂

7月18日（土）、長野市内での「信州こども食堂」は、新型コロナの3密回避を徹底したうえで、初めての長野市役所前桜スクエアで開催。参加は、元気な子ども 56 名を含む 115 名が楽しみました👨👩👧。



食事は、時節柄、手作りのお弁当は心配でしたので、いつもこども食堂をご支援してくださっているベーカリーカフェココさんとおやきのいろは堂さんに発注をさせていただきました。直前のオーダーにも関わらず 快く お引き受けいただいた上

に、こども食堂価格でご対応いただきました。本当にありがとうございました😊

カレーは、いつもお肉をご寄贈くださっている中日本フードさんが、新型コロナウィルスの影響で開催できずにいる「こども食堂」を気にかけてくださり、物資の提供にも使えるようにとご用意くださいました。スタッフと学生ボランティアさんも一緒に美味しくいただきました。



たくさんの学生ボランティアさんが、設営の手伝から、子どもたちと一緒に広い芝生で遊んでもらい大喜び❤️でした。



もんもカフェのキッチンカーでの山賊焼き・かき氷🍧、翠翔会の綿あめ・ポップコーン🍿・りんご飴🍎、ジビエ焼肉などに長蛇の列ができました❤️

広い芝生で食べて遊んで大はしゃぎ



時折り雨が降りましたが、太陽ものぞき、まあまあのお天気に恵まれ楽しい一日を過ごすことができました。

ことみちゃんの「にじいろパワー」とメンタルケアに生活相談コーナーには、大人から子どもまで相談に来ました。ことみちゃんに「にじいろパワー」をもらった子どもは🍌、さらに元気になりカレーライスも食べてしまいました😊。



芝生で、みんなで
🍌カレーライス

食事の後は、広い芝生
で大はしゃぎ



2020年7月20日(月) 信濃毎日新聞



長野の屋外で 食べて遊んで

NPOが子ども食堂

県内の子ども食堂連携組織の事務局を担うNPO法人ホットライン信州(松本市)は18日、長野市役所前の桜スクエアで子ども食堂を開いた。写真。新型コロナウイルスの

影響で外出機会が減った子に元気に遊んでもらおうと、屋外で初開催。芝生ではしゃぐ子どもたちの笑い声が響いた。

同市で毎月開く子ども食堂は、感染予防のため、食料などの物資配布に限るなどの措置を取っている。今回は距離を保てるよう会場を屋外に設定。松本地方の名物「山賊焼き」やカレー、綿あめなどが無料で提供され、子どもたちは芝生に座って頬張っていた。子どもたちは、初めて会った同士でもすぐに打ち解けた様子。食事した後、マスク姿で鬼ごっこなどをして走り回った。同市の小学4年の塚田百香さん(9)は「友達と会って遊ぶのはやっぱり楽しい」と話していた。

コロナに負けないぞ！

毎月第2土曜日 開催の GoGoいいよ

長野青年会議所や 学生らも支援

長野市 信州子ども食堂
GoGo いいよ

8月8日（土）、うだるような暑さの中、水害とコロナのW災害を受けた長野市赤沼 551-14（GoGo いいよ）で「信州子ども食堂」を開催し、子ども45名を含む計96名が参加しました❤️👨👩👧👦

今回は長野青年会議所の皆さんやいつもの清泉学院、長野西高校の学生さんらも参加していただき、子どもたちはゲームなど大喜びでした。



長野西高校生が食材や衣料・生活支援物資を配ってくれました。



メニューは、そばろちらし寿司とじゃがいもの煮ころがし。清泉学院の学生さんがまかないをしてくれました。



ことみちゃんの「にじいろパワー」やメンタルケア相談、翠翔会のポップコーンコーナーも開設されました❤️👏



無料物資コーナーでは、様々な企業・個人から衣料など約5,000点(1.0t)を配布し、お母さんや子どもたちは大喜びでした😊🌟

暑い中、もんもカフェのキッチンカーでは、かき氷とタピオカが飛びように出ていました。



支援物資提供の感謝状を伊藤理事長へ手渡す杏奈ちゃん（写真左）と長野青年会議所の皆さんによる風船づくり、ボール投げ、綿あめに挑戦する子どもたち

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ ☎️ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

8月9日の中日新聞と、10日の信濃毎日新聞に、8月8日の記事が掲載されました。当日は、長野西高等学校生の3人をはじめ、清泉女学院大学・短大生14名と長野青年会議所の若手リーダー19名がボランティア活動してくださいました。

2020年8月9日(日) 中日新聞



食料品を無償配布する関係者=長野市で

苦境家庭に食料支援

無償配布 長野JICとNPO法人

コロナを闘う

新型コロナウイルスの感染拡大で苦境に立たされた家庭を支援しようと、長野青年会議所(JIC)は8日、県内各地で子ども食堂を運営するNPO法人「ホ

ットライン信州」(松本市)とともに、長野市内で希望者に食料品を無償で配布した。

県内では新型コロナウイルスによる影響で仕事を失ったり、収入が減ったりする人が増えており、長野JICでは家計への負担を和らげる狙いで食料支援を決めた。七月

長野青年会議所のみなさんはブースで、綿あめ・バルーンアート・ボール当てゲームを担当し、子どもたちと交流しました。

また、長野青年会議所のメンバーや対外の方から提供していただいた支援物資の一部は、お弁当やデザートに調理され、保存の効く食料品は袋詰めして来場者に振る舞いました。

正午には、昨年10月の台風19号の犠牲になられた方へ向けて、広島への原爆投下で亡くなられた方を含めて全員で黙とうを捧げました。

2020年8月10日(月) 信濃毎日新聞

食料品や玩具など無料配布

長野市赤沼



信州こども食堂ネットワーク(事務局・松本市)は8日、配布会場の広場ではハ

日、ホットライン信州が二一三食分をポリ袋に小分けして百二十人分を用意。小学校に通う娘二人と訪れた市内在住の女性は「夫の仕事が減り、以前より自宅にいる日が増えた。食べ盛りの子もいるのでありがたい」と感謝した。



と、新型コロナウイルスの感染リスクを避けるため、屋内での子ども食堂の開催は難しくなっている。また、物資を屋外で配ったり、支援を必要とする家庭に届けたりしており、食料品や運営資金に充てる寄付金を募っている。ネットライン信州(0120-914)994(我那覇圭)

中甸から会員約百五十人に協力を呼び掛け、缶詰やレトルト食品、米や野菜などが集まった。

うと今年5月から毎月実施。今回は長野青年会議所(JIC)が会員から集めた支援物資も合わせて提供した。

地元の高校生ボランティアらがレトルトカレーやゼリー飲料などの袋詰めを配布。子どもたちには長野JICが提供した動物などの縫いぐるみを手渡した。新型コロナウイルスの感染防止策を講じながら、120食分のちらしずしも振る舞った。

ネットワークの事務局を務めるNPO法人ホットライン信州専務理事の青木正昭さん(70)「松本市は一被災者への中長期的な支援が必要なのにコロナのために萎縮しがち。気持ちが元気になる取り組みを続けていきたい」と話した。

長野青年会議所より

開場前に子ども代表から、支援物資提供の感謝状が伊藤理事長へ手渡され記念撮影を行いました。

我々のまちづくり運動や思いが、今回はこのような感謝状という目に見える形で届いたこと大変うれしく思うと同時に、このような運動を続けていかなければいけないと実感しました。

今回このような子ども食堂の運営支援をさせていただいたことは大変学びの多い機会となりました。NPOホットライン信州の皆様、ご協力頂きましたメンバー、対外の皆様感謝申し上げます。

子どもたちから、こども食堂のインタビューを受けました。



被災地を応援 ながとよマルシェ

長野市（長沼・豊野） ながとよマルシェ

台風19号から1年の節目を迎える10月11日（日）、長野市の被災地（長沼・豊野）を応援しよう！と、「ながとよマルシェ実行委員会」主催で開催、NPOホットライン信州（信州子ども食堂ネットワーク）が食材を提供しました。子ども約300名を含む600名が参加、復興にむけて大きな力となりました。



受付には開始前から100名ほどの列ができるほど、皆さん心待ちにしていた様子😊



子どもたちは、美味しい中華ほんわか肉まんにカブリつき、わたあめ、バルーンなどで盛り上がりました。

新鮮な白菜やレタスなど手に、遊具コーナーで遊ぶなど、各ブースを楽しみました。



子どもたちのキッズダンスも見ごたえもあり、家族の笑い声や歓声が会場に響き渡った1日でした😊。



長野県台風19号被災地支援活動
 新型コロナに負けない！W災害から
 子どもと家族を支えよう

発災から豊野・長沼地区に支援活動を開始、5月から9月まで「信州子ども食堂 赤沼551」として
 食卓子ども食堂を開催してきました。令和元年台風19号被災地支援信州子ども食堂は、災害から
 1周年を迎える10月に、長沼・豊野地区支援団体、『災害支援チームアッシュ』と連携に向けた
 取り組みの中で『信州子ども食堂』を共同開催致します。

復興イベント 第2段 **ながとよのマルシェ**
 ×
信州子ども食堂ネットワーク
 ミニキッズランド

遊び・子ども 支援ブース ストラックアウト パルーンアート などなど

10.10 SAT → 10.11 SUN
 11:00 ~ 16:00

場所・交通
 〒381-0002 長野県長野市赤沼2-399-1
 デリシア ユーバレット赤沼店隣駐車場
 (臨時駐車場)
 アップルライン国道18号沿い
 豊野駅から徒歩12分

主催：特定非営利活動法人NPOホットライン信州(信州子ども食堂ネットワーク)
 お問い合わせ申し込み ☎ yf52160@nifty.com 無料相談 ☎ 0120-914-994
 共催：ながとよマルシェ実行委員会
 後援：長沼育成会連絡協議会

＜編集＞信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧いただけます

みんな で 稲刈り & 念願のカフェ

大町市 信州子ども食堂 in 「みあさの森」

10月11日(日)の「みあさの森」は、みんなで稲刈り。子ども13人と大人9人。午前中の小学生の刈りのスピードはビックリするほどで、あっという間に刈り終わり！



釜炊き飯と、この季節の身体にやさしい特製野菜スープで充電したら、午後はのんびりと小さな子たちも一生懸命お手伝い。虫やカエルを捕まえ、泥だんごづくり…どれだけ走り回っても、大きな声で叫んでも、みんなニコニコ。



日差しは暑いくらいの時間もありましたが、終始あたたかい空気の流れる田んぼ。今年は小さな苗に水不足、上手くできなかった草取りですが、刈ってみれば去年より少し少ないくらい。味はどうか？ みんなで食べたい新米。次は、足踏み 脱穀機と唐箕でいよいよ粳にします！みなさんまたお願いしますね！
ありがとうございました！



母と子がくつろぐ念願の企画「ははこ cafe」



10月19日(月)は、念願の企画「ははこ cafe」。子ども6人と大人5人でにぎやかに楽しく開催できました。定員をかなりしぼったため、キャンセル待ちの方に来ていただけなかったことが心残りでした。



ログハウスの中は、居心地がよく何ともいえないやわらかな空気感。母が子どもとゆっくり気兼ねなくランチしながら、母たちのおしゃべりと子どもたちの声がつつまれていました。

JA 大北様のお野菜が大変身を遂げ、期待を裏切らないシェフのランチと自然派かよこスコーンに、園長自家焙煎コーヒーは、またたくまに完売しました。




母が子どもとゆっくり気兼ねなくランチできるこの空間で、母でもある主催者がくつろぎまくるという私の描いた cafe そのものとなりました。それ以上に、いつも慌ただしく疲れているであろう母の「元気になった！」の笑顔は、今後の私の大きな活力になりました。やってよかったー！！

11月は11日、11時から。お子さま連れも、そうでなくともお待ちしていまーす！

すでに満員になりキャンセル待ちの受付となります。

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

2 会場でお弁当 約 200 人参加

富士見町 特定非営利活動法人こどもの未来をかنگえる

10月18日(日)、富士見町の「特定非営利活動法人こどもの未来をかنگえる会」の久しぶりのイベント。今回は、2会場でお弁当を配りました。お弁当はあっという間に終わってしまい大好評でした。中には、不登校のお子様「ここだったらからくることができた」と、うれしいお言葉をいただきました。



富士見町ゆめひろばには、子ども116人と大人30人の計146人が集まり、長い列ができました。



テンホウ様からご提供いただいた餃子をメインに、ご寄付いただいた食材で野菜のナムルの付け合せ。カフェ&スペース飛行船にお越しいただいた方には、フライドポテトもお持ち帰りいただきました。フードドライブからいただいたお菓子もしっかり皆様のお手元にお配りできました！



多世代でフライドポテト用に、じゃがいもの皮むき。3ヶ月の赤ちゃんをおんぶしてボランティア活動に参加するママ。思わず微笑んでしまう写真です。



<9年越しの活動の想い>

2020年8月にNPO法人化し、多世代の居心地のいい居場所作りをめざしてきました。今後は、お母さんたちによる手作りお弁当事業、放課後の居場所、ブックカフェ、学用品リユース etc...拠点作りめざして活動予定です！

↓ 信濃境駅前のカフェ&スペース飛行船には、子ども24人と大人23人の計47人が参加しました。



子どもと大人が 安らぎと喜びを共感

塩尻市 信州こども夕日食堂



10月28日(水)塩尻市片丘小コミュニティスクールの「信州こども夕日食堂」が片丘多目的研修センター(片丘公民館)で、子ども37名を含む約60名が楽しみました。



料理を見た親子たちからは、「豪華だね」「美味しそう」の声が聞け…食べた方々からは、「これ、美味しい」「何が入ってるんだろう」と聞きに来るお母さんや、「ご飯お代わりありますか」と言うお子さんもおられ、たくさん食べる姿が見れてとてもスタッフ一同嬉しく思いました。

メニューは、鶏肉野菜丼(鶏肉…本郷鶏肉店様提供)じゃがいもと生ハムのキッシュ(生ハム…イチジウ様提供)かぼちゃとさつまいものサラダ(かぼちゃ…高出の山田様提供)・筑前煮お野菜は、コミュニティスクールのメンバーの方々が提供して下さいました。今回は、当日提供して頂いた食材を基にメニューを急きょ変更し、皆で調理を分担し手早く作る事が出来ました。



子どもたちが同じ喜びを共感した…読み聞かせの安らぎの時間でした。




思い思いに楽しむ子どもたち

子どもたちは、トランプや積み木で遊びました。いろんな方々とふれあえ、子どもたちの笑顔が見れて幸せな一時を過ごしました。



次回は、11月25日(水)17時～お楽しみにお越しください。

<編集>信州こども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧いただけます

気持ちを元気に イベント大盛況

長野市 信州子ども食堂 NE NAGANO フェスタに参加

11月14日(土)、長野市で開かれた「2020 ONE NAGANO フェスタ」。台風19号とコロナ禍のW災害で😓沈みがちな気持ちを元気に!😊と、長野青年会議所の若者が主催しました。信州子ども食堂で支援ブースを開設し、フードドライブ、子ども向けおみやげ付きのゲーム大会、コロナ禍で苦労している学生対象のフードパントリー、お困りの方々向けの相談支援などを行い、物資約6千点を提供しました。👩👧👦



天気の良い暖かな一日。子ども向けの「魚釣り」と「ボールなげ」に、子どもたちは大喜びでした。

信州子ども食堂ネットワークのブースには、子ども78名と大人105名の計183名、うち学生53名と

たくさんの方々がお立ち寄りくださいました。😊

学生さん対象のフードパントリーは、用意した50袋がすぐになくなり、追加でお渡すことができました。



フードパントリーって?

なんらかの理由で生活に困っている人を対象に食品を無料で配付する活動のことを言います。

もとは「食料の保管庫」を意味することばです。



コロナ禍で日頃の発表の機会を失ったこども達や地域の団体によるステージ発表が行われました。こどもたちの伸び伸びとした発表が会場を盛り上げ、イベントは大盛況でした😊

様々な物資や野菜、そして持ち帰り用の袋などのご提供とご協力くださったすべてのみなさま、誠にありがとうございました

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

豪華なお弁当に リースづくり！

長野市 信州子ども食堂古里カフェ

11月29日（日）、長野市のふれあい福祉センターで、信州子ども食堂古里カフェを開催しました。参加人数は、子ども11名と大人11名でした。



左上は冬瓜のブタそぼろあんかけすき焼き味。中は鶏肉の肉団子。右はりんごとあんずジャムのコンポートです。



稲荷寿司弁当、器付きでテイクアウト豪華にできあがりました。

リースをつくりました！

コロナ禍で出かけることもできずにいた子どもたちが、楽しそうにどんな作品にしようか迷って考え、はじめてグルーガンを使ってヤケドをしないように慎重に飾り付けをしていました。




上手にできました。みんな満足顔です。

ボランティアセンターの皆さんと記念写真を撮り、お礼を言ってお弁当とジュース、お菓子の詰め合わせを手にとりました。

先日の綿花収穫からリース作りまで、外に出るの活動になりましたが、とても良い体験でした。いもい農場の西沢さん、ボランティアセンターの皆さんに心からお礼を申し上げます。ありがとうございました



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

みんなの力で内閣府大臣表彰を受賞

祝受賞

令和2年度 子供と家族・若者応援団表彰

信州子ども食堂ネットワークを運営するNPO法人ホットライン信州が、11月27日(金)東京都内の内閣府講堂で、令和2年度「子供と家族・若者応援団表彰」の内閣府特命担当大臣表彰を受賞しました。

子どもや若者を育成支援する活動で顕著な業績があったと認められたもので、長年の活動に加え、新型コロナウイルスの影響下でも感染対策を徹底して食品や生活必需品の提供などを続けたことから、長野県の推薦を受けたものです。



受賞後、坂本哲志内閣府特命担当大臣（少子化対策 地方創生）（写真右）と記念撮影したホットライン信州の青木正照専務理事



表彰状と高級なクリスタルグラス製の盾

11月28日の「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」のスタッフの皆さんと受賞を祝いあいました



＜ホットライン信州の取り組み＞

24時間対応の無料電話相談や面談、同行による自立支援とケア、居場所や無料で食事を提供する「信州子ども食堂」、「まちのプラットフォーム」をめざした生活相談や食育、子どもの学び支援、フードバンク・フードパントリー事業など、生活困窮者の支援に多角的に取り組んでいます。

約3200点の食材や支援物資を集めた「子ども応援リレー」



この受賞は、私どもの事業に賛同しご支援をいただきました企業・団体・個人の皆さまと直接活動に関わったスタッフ・ボランティアの方々、お一人おひとりの「心合わせ」と「力合わせ」の成果が繋がったものです。皆さまに厚く御礼申し上げます。

今もなお、コロナ禍で苦労している子どもや家族のためにも、さらに力を合わせて共にがんばっていきましょう！（受賞の記事が11月28日の信濃毎日新聞と市民タイムスに掲載されました）

＜編集＞信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

手づくりカードで クリスマス



長野市 信州こども食堂

12月19日(土)長野市のふれあい福祉センターで開いた「信州こども食堂」は、元気いっぱいの子どもたち43名を含む96名で、大人が子どもたちから元気もらいました。メニューは、「信州プレミアム牛肉の肉巻きおにぎり」と、おでんと小さなXmasケーキ🍰みんなでワイワイにぎやかなXmasを過ごしたいところですが、がまんがまん！お弁当にして持ち帰りにしました。また、食育では「いただきます」と「ごちそうさま」に込められた意味について学びました。



クリスマスのカードづくり

コロナ禍で大切な人・会いたい人にも満足に会えないご時世に、手作りのクリスマスポップアップカードで想いを伝えようと制作しました😊。

折紙で作ったサンタクロースやXmasブーツを貼ったり、絵やメッセージを書いたり、小さなカードが夢いっぱいの素敵な空間になりました。ボランティアの学生を中心に、大人も子どもたちもカード作りに夢中。きっとこのカードをいただいた方は、いつも以上に温かなXmasになれるのでは、と感じました。



円福幼稚園から園児が育てたお米

長野市篠ノ井の円福幼稚園で子どもたちが種まきから脱穀まで行ったお米20kgをいただきました。メッセージを添えて、園児6名が届けてくれました。



長谷谷寺からおすそわけ

おてらおやつクラブに加盟する長野市の長谷寺岡澤慶澄様より、お米50kgとお菓子など600点40kgのおすそわけをいただき、いる子どもスタッフ3名が受け取りました。ありがとうございました。



内閣府大臣賞を手に喜ぶスタッフ一同

コロナ禍で「こども食堂の講座・集い・研修会で学ぶ」

塩尻市・松本市 信州こども食堂ネットワーク

11月18日(水)、塩尻市保健福祉センターで、令和2年度塩尻市社会福祉協議会「福祉サポーター養成講座」がコロナ感染防止のため人数制限の中開かれ、市内のサポーター約40名が、コロナ禍でも行う「こども食堂の必要性」をテーマに、信州こども食堂ネットワーク青木事務局長が、地域の居場所、見守りの担い手として活動する現場の対応について、様々な事例をもとに活動することを訴えました。



参加者の皆さんは講演を聴き入り、地域の「見守り力」の向上を目指して、地域生活での「気づき」を繋ぐことや、地域住民の孤立を防ぎ、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けることが重要であるとの新たに認識し、早速！11月28日の信州こども食堂in 学び塾にボランティア参加していただきました。

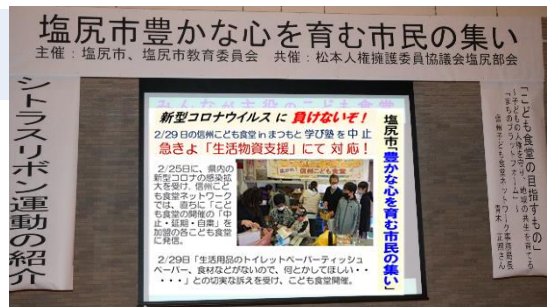
「塩尻市豊かな心を育む市民の集い」

令和2年12月5日(土)塩尻市総合文化センター(講堂)で塩尻市・塩尻市教育委員会主催の令和2年度「塩尻市豊かな心を育む市民の集い」が開催。新型コロナウイルス感染症対策に人員を絞り、関係者のみの約50名が参加し活動の糧としました。



依然として人権上の偏見や差別の意識が存在し、児童虐待やいじめ、児童の貧困など子どもの人権が脅かされている現状に、子どもたちの人権を守り、健やかな生活を願う活動として「信州こども食堂」の活動や理念に触れ、未来を担う子供たちの人権を守り豊かな生活を築く取組を実践している「信州こども食堂のネットワーク」の活動を活かすこととしました。

塩尻市では、今回の講演会は、コロナ禍で多くのサポーターの皆さんが、参加できなかったため、講演会の内容を収録し、テレビ松本で、2021年1月～2月までの2か月間、日曜日、祝日、水曜日、木曜日は、午前9時～、午後6時～月曜日、火曜日、金曜日、土曜日は、午前11時～、午後8時～ということで、2月いっぱいまで放送していただきました。お陰様で、他の研修会・セミナー等でも活用することが出来ました。



テレビを見ながら勉強する子どもたち

長野県青少年育成指導者・青少年サポーター研修会

2月10日(水)、松本市松南地区公民館(なんなんひろば)で、令和2年度長野県青少年育成指導者・青少年サポーター研修会が人数制限の中開かれ、県内の青少年サポーター約50名が、コロナ禍で苦闘する子ども食堂の現場の声を熱心に聴き入りました。



子ども食堂に理解深める
松本で研修会
本年度第2回県青少年育成指導者・青少年サポーター研修会(県将来世代応援県民会議など主催)が10日、松本市松南地区公民館で開かれた。子供たちに食事や居場所を提供する子ども食堂の運営や支援に携わるNPO法人ホットライン信州の専務理事・青木正昭さんが「コロナ禍における子ども食堂の役割」と題して講演した。子ども食堂は、健全な成長を促す重要な役割を担っている。子ども食堂の役割を深めるには、地域での居場所、多世代交流の場として「信州子ども食堂」への参加を求めている。また、「寄り添い子ども食堂」と「子ども食堂はらぺこあおむし」が、それぞれの取組状況や課題を話していただいた。

コロナ禍における「信州子ども食堂をまちのプラットフォームに！」をテーマに、信州子ども食堂ネットワークの青木事務局長が地域での居場所、多世代交流の場として「信州子ども食堂」への参加を求めて講演。また、「寄り添い子ども食堂」と「子ども食堂はらぺこあおむし」が、それぞれの取組状況や課題を話していただいた。

寄り添い子ども食堂の田口恵子さん(写真下段)は、学校が休校中の3月は、毎週子ども食堂を開催した。現在は月1回だが、定員60名を超える70名も申し込みがあり、3密回避で苦労していることなどを報告しました。

休校中の子どもたちと家族のために！ 多世代交流の「寄り添い子ども食堂」が始まりました

3月12日(木) 松本市里山辺に誕生した多世代交流型の「寄り添い子ども食堂」が3月13日の市民タイムスと信濃毎日新聞の朝刊に掲載されましたので紹介します。
市民タイムス 2020年(令和2年)3月13日(金)



青木さんの講演で子ども食堂に理解を深めた研修会
(鎌倉 希)

市民タイムス 2021年2月11日(木)

「子ども食堂」をテーマとし、健全な成長を促す重要な役割を担っている。子ども食堂の役割を深めるには、地域での居場所、多世代交流の場として「信州子ども食堂」への参加を求めている。また、「寄り添い子ども食堂」と「子ども食堂はらぺこあおむし」が、それぞれの取組状況や課題を話していただいた。

報告した子ども食堂はらぺこあおむしの増田龍美さん



地域 Local News



松本
青少年育成活動に取り組むボランティア「県青少年サポーター」などの研修会が10日、松本市の松南地区公民館で開かれた。NPOホットライン(信州)専務理事で、信州子ども食堂ネットワーク事務局長の青木正昭さんが講演し、写真、

子ども食堂の役割知る機会に

青少年サポーター研修会 ホットライン信州専務理事・青木さん講演

子ども食堂への理解を求めた。青木さんは「コロナ禍における子ども食堂の役割」と題して話した。子ども食堂は食育や学習、遊び、相談、ケアなどの多様性がある子どもの居場所と説明した。「(子ども食堂が)地域にあることで、子どもの成長が見える。子どもは大切にされた記憶があると、逆境を乗り越え、生き抜く力が身に付く。それが、貧困の連鎖を防ぐ近道」などと話した。研修会は県将来世代応援県民会議などが主催。同市などの約40人が参加した。



3月～の寄り添い子ども食堂の報告する田口恵子さん

すき焼き弁当で 子育て世帯支援

長野市 信州子ども食堂 in あもり

12月12日(土)、長野市の安茂里公民館で開いた「信州子ども食堂 in あもり」には、子ども86名を含む195名が参加しました👨👩👧👦

コロナ禍で苦慮している子どもと家族に「信州プレミアム牛肉のすき焼き弁当や食材と野菜の物資(Xmasプレゼント)」を渡し、受け取った親子は大喜びでした👨👩👧👦。



がこぼれました



家庭で作ったツリー

食育の学びコーナーでは、「食べることの大切さを学んで良かった」との感想が聞かれました。綿あめや家庭でつくろう「シトラスリボン」と「まつぼっくりツリー」キットを持って楽しみに帰りました👨👩👧👦。多くの子どもたちに喜んでいただきました👨👩👧👦。



ご寄附をいただいた長野篠ノ井ライオンズクラブの西村明子会長へ感謝状を渡す子ども代表の塚田杏奈ちゃん

メニューのすき焼き弁当に使ったのは、農林水産省の食育等推進事業を活用して用意した信州プレミアム牛肉🍖。牛肉以外の食材ほとんどは、地元企業や農家、個人の方々からご寄贈いただき、購入した物はわずかでした。

牛すき焼き弁当には、たくさんの愛が込められ、ひと味もふた味もちがうものとなりました。開催に向けてご協力いただいたすべての皆さまに感謝いたします。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

当日のNHKと翌日の信濃毎日新聞で報道されましたので、一部をご高覧ください😊

今回の活動に関わった皆さま、ありがとうございました😊

NHK NEWS WEB 12月12日 18時56分

コロナで生活困る子育て世帯支援

新型コロナウイルスの影響で収入が減るなどして生活に困っている子育て世帯を支援しようと、長野市で、NPOが弁当やお菓子などを無料で配りました。これは子どもたちに食事などの支援をしている松本市のNPO「ホットライン信州」が行ったものです。



子ども2人と訪れた長野市の30代の女性は、「新型コロナウイルスの影響で家庭内の収入が減り食費を削っていました。子どもが食べ盛りになってきたので本当にありがたいです」と話していました。

NPOホットライン信州（信州子ども食堂ネットワーク）の青木正照専務理事は、「新型コロナウイルスに負けないという気持ちを持って新年を迎えてもらいたい」と話していました。



2020年12月13日（日） 信濃毎日新聞

すき焼き弁当で 年の瀬を元気に

すき焼き弁当を受け取る親子連れ



NPO法人ホットライン信州（松本市）は12日、「子ども食堂」を長野市安茂里の安茂里会館で開き、県産ブランド牛肉「信州プレミアム牛肉」を使ったすき焼き弁当約200個を振る舞った。新型コロナウイルス禍で気持ちが沈みがちな年の瀬に、ちよつとせいたくな弁当を食べて元気を出してほしいとの願いを込めた。

信州プレミアム牛肉は風味に優れ、口当たりが柔らかいとされる。約100gの肉を購入。一部を使い、ハクサイ、シイタケ、ニンジン、焼き豆腐、こんにゃくと甘辛く煮てご飯に載せた。午前11時に受け付けを始める親子連れが訪れ、菓子やジュース、カップ麺の袋詰めと一緒に受け取った。

近所に住む水畑麻里恵さん（32）は「夫の収入が減り、食費を切り詰めていた。とても助かります」。ホットライン信州によると、信州プレミアム牛肉の残りは市ふれあい福祉センターで19日に予定する子ども食堂で「肉巻きおにぎり」にして提供する。

長野で「子ども食堂」親子らに振る舞う



お寺おやつクラブと農家の方からいただいた白菜やじゃがいも、りんごなども提供しました。



子どもに人気のバルーンアート

信州プレミアム牛肉は、12月19日（土）に長野市ふれあい福祉センターで午前11時から開く「信州子ども食堂」で、肉巻きおにぎりにして提供する予定です。お楽しみに♪

大みそかに笑顔 年越し子ども食堂

松本市 年越し子ども食堂（信州子ども食堂 in 島内）

12月31日(木)、松本市島内公民館で、「年越し子ども食堂（信州子ども食堂 in 島内）」を開催。子ども52名を含む113名が参加しました。子ども達の歓声と親子の笑顔があふれていました。新型コロナ禍の影響で食事に苦慮している、子どもと家族に、年始は家で過ごしていただくために、少しでも笑顔になって欲しいとの「熱い思い」がいっぱいでした。家族団らんの新年を迎えた、来年は「コロナに勝つ！」を、合言葉に心と力を結集した信州子ども食堂でした。



地元の本格の手打ち年越しそばと、新鮮なイチゴのチョコレートフォンデュやりんご、多くの食材、バルーンアートの風船とお菓子のつかみ取り、さらにお米・食材・衣類などたくさんの物資を持ち帰っていただきました。



キューピーさん提供のマヨネーズや龍角散の喉飴、玄向寺からのお米・野菜・信州蓼科りんご・衣類などをたくさん抱えて、みんな大喜び

手打ちの年越しそば。こねた生地を麺棒で均一にのばしている田力さん

2021年1月1日 中日新聞



来場者に食材を配布するボランティア＝松本市島内の島内公民館で

ホットライン信州 「年越し子ども食堂」
 新型コロナウイルスの影響などで経済的に困窮する家庭を支援しようと、県内各地で子ども食堂を運営する松本市のNPO法人「ホットライン信州」が三十一日、市内の島内公民館で「年越し子ども食堂」を開き、寄付された米や果物、菓子などを来場した百十三人に配った。
 県内のボランティア三十人が参加。市内のそば愛好家をつくる「東方そばの会同志会」が、年越しそば用に打った生そばも配布された。ホットライン信州の青木正照専務理事（71）は「コロナ禍で気持ち菱縮する中、食材を食べて元気に新年を迎えてほしい」と話した。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

冷凍コンテナで 生鮮食品を提供

長野市 信州子ども食堂 in 若里フードパントリー

1月11日(月)、長野市若里で「信州子ども食堂 in フードドライブご縁りレー」を開催しました。

子どもたちに新鮮な生鮮食品を届けるようにと、冷凍コンテナを設置したのを機会に、子ども21名を含む50名が「もったいない～ありがとう！」フードパントリー方式の子ども食堂を楽しみました。



信濃毎日新聞 2021年1月12日(火)



寄付されたキノコをコンテナに運び込む信州子ども食堂ネットワークのスタッフら

子ども食堂に 生鮮食品を

長野で冷蔵コンテナお披露目 寄付に期待

信州子ども食堂ネットワーク(事務局・松本市)は11日、子ども食堂で使用する食材を募る「フードドライブ」を長野市若里の信州プロセス事務所前で開いた。提供された生鮮食品を保存するため設置した冷蔵コンテナのお披露目を兼ね、農協などから早速、キノコなどの寄付を受けた。

信州子ども食堂 ネットワーク

この日は近隣の住民が保存が利く食材を持ち寄り、中野市農協などが複数種類のキノコを提供。ネットワークのスタッフらがコンテナに運び入れた。食材を取りに来た市内の「東和田寺子屋カフェ」スタッフの山岸佳代さん(70)は「生鮮食品の購入も行政の支援などで賄っており、寄付されるようになれば運営の支えになる」と期待した。

従来のフードドライブは、長期保存できる食品を中心に寄付を呼び掛け、野菜や肉など生鮮食品は子ども食堂の実施直前に購入することが多かった。保存施設があれば生鮮食品の寄付を呼び掛けることができ、食品廃棄の回避や提供メニューの充実につながる」と昨年コンテナ1台をリースで設置した。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

たべものをすてるのは もったいない！

フードドライブ
のしくみ



いただきます

長野県庁や市役所、また、ライオンズクラブなど多くの皆さんより集めます



うち お家やお店、会社やなどから



ありがとう

ご家庭や子ども食堂などへ

さしあげます



とてもおいしい
ありがとう

明日を開く 3つの意義



いまこそ①環境保護、②社会的包摂、③経済開発（SDGsの持続可能な3要素）の考えのもと、弱い立場にいる人のことを同じ立場で理解して、環境や人権を理解し、こども食堂を通じて持続可能な地域を社会をつくること

SDGsの“環境の上に社会・経済が成り立つ”



特定非営利活動法人 NPOホットライン信州「信州こども食堂ネットワーク」は国連がめざすSDGs（持続可能な開発目標）を支援しています



コロナ禍における、フードドライブ ・フードバンクにフードパントリー

フードパントリー
ってなあに？

食材を配布する場所(NPO ホットライン
信州・信州子ども食堂)などです。



フードドライブ
ってなあに？

集まった食品
を、食事に困って
いる人や子ども
食堂に届けます。

食品支援が必要な家庭

フードパントリー

フードバンク
ってなあに？

おうちで眠って
いる食品を持ち
より集め福祉団
体に寄付します。



“もったいない”を“ありがとう”の笑顔につなぐリレー！

フードドライブ信州子ども食堂応援リレー

日時 11時～13時と 場所

- 2月 6日 (土) 松本市合同庁舎玄関ホール
- 2月 13日 (土) 長野市役所桜スクエア
- 2月 14日 (日) 上田合同庁舎 11時～13時
- 2月 21日 (日) 諏訪合同庁舎

ご寄贈していただきたい品物

【食品】菓子、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、カップ麺など



コロナ禍での3密
回避の青空子ども食堂

【お問い合わせ先】フードドライブや子ども食堂のこと、支援のご希望やご相談などもおよせください

主催：特定非営利活動法人 NPOホットライン信州（信州子ども食堂ネットワーク事務局）
〒399-0011 松本市寿北 5-4-28-1 0120-914-994

共催：ライオンズクラブ国際協会 334-E 地区(長野県) / (一社) 長野県ライオンズ

後援：一般社団法人 全国食支援活動協会

寄贈 1 万点と配布 1 t で 多くの子育て家庭を支援

松本市 信州子ども食堂 フードドライブ&フードパントリー

2月6日(土)、松本市の県松本合同庁舎でフードドライブ(180名)とフードパントリー(120名)を行いました。

家族連れなど約300名が訪れました。正午から「いなりずしと餃子詰め合わせ弁当」(100食限定)を配布。その後、支援物資から各人が必要な物を選んで持ち帰りました。



支援物資は、活動に協力いただいている県および松本中央ライオンズクラブが、県内外の個人や団体から集めた缶詰、米、カップ麺、野菜、菓子、衣類など、約1万点(2t)です。また、当日の午前中も同会場でフードドライブを実施し、家庭で余った食品や衣類、文具などが持込まれました。集まった支援物資は、その場でNPOホットライン信州に寄贈され、会場に陳列しました。

(23) 令和3年(2021年)2月7日 日曜日

市民タイム

食での家庭支援さらに

ホットライン信州 松本中央LC 寄贈・配布同じ会場で

家庭で余った食料品などを寄せる「フードドライブ」と、必要とする家庭に配る「フードパントリー」を同じ日に同じ屋外会場で行う催しが6日、松本市島立の県松本合同庁舎で開かれた。庁舎前に大量の食料品や調味料、衣類が寄せられ、訪れた大勢の家族連れが必要分を持ち帰った。

平成28(2016)年から配布しているNPO法人ホットライン信州と、29年から活動に協力する松本中央ライオンズクラブ(L



多くの寄贈が寄せられ、大勢の家族連れが必要な食料を受け取った県松本合同庁舎の屋外会場



「必要とする家庭がより気軽に利用できるよう、多くの家庭に活用してほしい」と願った。

(小岩井貴之)

い」と笑顔を見せた。するLC国際協会33松本中央LCが所属 4-E地区(長野県)

「LCの組織力がすばらしい。成果が多くの家族の助けになれば」と期待する。青木会長も「いわば、松本モデルだ。全員の活動として継続できれば」とし「必要とする

は、今月、ホットライン信州と共催で、同じ仕組みの譲渡会を北信・東信・南信の3会場で行う予定だ。

法人の青木正照専務理事は「LCの組織力がすばらしい。成果が多くの家族の助けになれば」と期待する。青木会長も「いわば、松本モデルだ。全員の活動として継続できれば」とし「必要とする



「いなりずしと餃子詰め合わせ弁当」は、みすずコーポレーション様から提供いただいた味付けいなりあげで、「寄り添い子ども食堂」の皆さんがおいなりを作り、テンハウ様から提供いただいた餃子と詰め合わせました。



広がれ思いやりと支えあいの絆

長野市 信州子ども食堂フードバンク&フードパントリー

2月13日(土)、長野市の桜スクエアで、コロナ禍における「広がれ!!「思いやりと支えあいの絆♡」のフードドライブ&フードパントリーを開催しました。



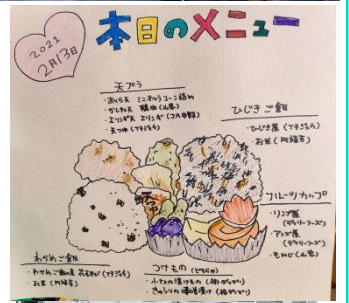
寄贈者は74名!フードドライブで集まった支援物資はなんと5,000点!合計で1トンを超える物資が集まりました。



信州子ども食堂には子ども39名を含む82名に参加いただきました!(^^)!



メニューは天ぷら弁当!!、オクラ天、かしわ天、エリンギ天の3種類の天ぷら。特におくら天にはオクラの中にはコーンが詰められていました。食べたことがない天ぷらでしたがとてもおいしく、創造性がありました。コーンの甘味とオクラは



合うんですね~(≧▽≦) お弁当一個でとても満腹になりました。『満足!満足!』でした。

長野市民新聞 2021年2月18日

生活弱者ら支援 菓子や弁当配布

NPOが市役所で

生活弱者らを支援するNPO法人ホットライン信州(松本市)は13日、家庭で余った食品を集める「フードドライブ」と、食品を必



要とする人たちに配る「フードパントリー」のイベントを長野市役所前で開いた。食品を持ち込む人や持ち帰る人の影響で困窮する人を

フードパントリーでは、レトルト食品やカップ麺、菓子、調味料などの他、手作り弁当も配布。小さな子供を連れた市内40代女性は弁当などを受け取り、



長野県ライオンズクラブ様から10万円分の食材を中村吉秀(左写真)さんからお受けしました。感謝をこめて、子どもたち自ら感謝状を読み渡しました。



北村通将(右写真)さんからご寄附とお米を受け取り、感謝状を渡す子どもたち。

後ろにある段ボールは、長野県ライオンズクラブ様からご寄付していただいたインスタント食品です。

明治ホールディングスさんからたくさんのチョコレートをいただき、子どもたちは大喜びでした。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください

上田で6千点超 フードドライブ

上田合同庁舎 フードドライブ

2月14日(日)、上田合同庁舎でNPO ホットライン信州主催の「フードドライブ」が開催されました。寄贈者は82名で集まった支援物資は、なんと6,128点！合計で360キロを超えてる物資が集まりました。



和田小学校児童会から支援物資をいただき、当法人子ども代表から感謝状とバレンタインデーチョコを全生徒にプレゼントしました。



受付を担った長野大学と清泉学院の学生ボランティア・スタッフは、(株)アマナ様ご寄贈のTシャツを着用。



信州ハム(株)さんより、オニオンスープ1000個をいただきました



10万円相当の食材を上田地区ライオンズクラブさんから戴きへの感謝状を渡しました。



上田の滝沢一秀さんや長野中央 LC の伊藤さんからも物資を戴きました。



バルンアートをつくり子どもたちへ配布

たくさん集まった物資を確認しながら、腹話術でお礼をする、当法人滝沢理事。



<小諸食堂の小林さんのコメント>

『信州子ども食堂応援リレー』（フードドライブ）で長野大学、清泉女学院大学の学生さんや子どもたちといっしょにお手伝いしました😊そして、ものすごくたくさんの物資をいただいて、夕方からは、『信州子ども食堂 in こもろ』と「子ども食堂みよた」の食堂で活用したい』と感謝を述べられました。

県内4か所で・・・ つないだ応援リレー

諏訪市 フードドライブ

2月21日(日)、諏訪合同庁舎で「フードドライブ信州子ども食堂応援リレー」を開催。約50の個人・団体からレトルト食品、米、カップ麺、菓子類など約7000点(計約900キロ)が集まりました。



2月22日 月曜日

長野

今回の子ども食堂応援リレーは、2月6日本市でスタートし、13日の長野市、14日上田市を経てアンカーの諏訪会場へとバがつながりました。全4会場で集まった合計3.1万点で4.3トンになりました。

善意の食品6400点に感謝

フードドライブ信州 子ども食堂応援リレー 諏訪で最終回



多くの物資を提供したライオンスクラブ関係者(左)に感謝状を贈るNPOホットライン信州の関係者の子どもら

子ども居場所づくりの活動や困窮家庭の支援と食品ロス削減につなげる「フードドライブ」信州子ども食堂応援リレーを諏訪市の県諏訪合同庁舎で行った。約60の個人、団体からレトルト食品、米、カップ麺、菓子類など約6400点(計約500キロ)が集まった。



喜びいっぱいの笑顔で感謝状を贈りました。

今回の子ども食堂応援リレーは、2月6日本市でスタートし、13日の長野市、14日上田市を経てアンカーの諏訪会場へとバがつながりました。全4会場で集まった合計3.1万点で4.3トンになりました。諏訪合庁に食品を届けた提供者のうち、ライオンスクラブ国際協会(3341E地区・長野県は、レトルトカレー約1100食を持ち込んだ。同クラブ第1副地区ガバナーの増澤義治さん(57)諏訪市)と同クラブ南信地区代表の前田英司さん(66)飯田市)が届け「子ども食堂の活動や関連する施設などの支援に役立ててほしい」と思いを伝えた。主催者側は多くの寄贈に対して、感謝状を準備。関係者の子どもたちが喜びいっぱいの笑顔を手渡していた。

多くの物資を提供したライオンスクラブ関係者(左)に感謝状を贈るNPOホットライン信州の関係者の子どもら

集まった支援物資は、南信地方の各子ども食堂と必要としている家庭へ配られます。今回の信州子ども食堂応援リレーを通じて「コロナ禍の影響で、生活弱者にとって生活は厳しい状況が続き、苦しさが増幅している。一方で、支援の輪や助け合いの機運が高まっているのも事実。多くの皆さんの支えあいの輪『心合わせと力合わせ』で、コロナ禍を乗り切っていこう!」と強く思いました。

心まで温める 支援物資を提供

塩尻市 信州子ども食堂 in あじさい

2月21日(日)、塩尻市で「信州子ども食堂 in あじさい」が誕生しました。

コロナ禍で思うような外出が出来ない中・・・子どもたちと家族👨👩👧👦を支えようと10時から「福祉の里あじさい」駐車場の受付で、子ども64名を含む100名へ、3密を避けながら🤔、五目ごはんや豚汁やホットライン信州からの支援物資をテイクアウト方式で提供しました。

皆さん大喜びで無料提供の食材を次々と受け取りました😊。



「福祉の里あじさい」の2階は、ホットライン信州の事務所相談会も行っております。

家族そろって😊食材を手にしたお母さんからは😊「温かいお弁当とたくさんの物資をいただきました😊、私も子どもたちも、心まで温めていただきました。

ありがとうございました。とのお礼の言葉をいただきました😊。あじさいの仲間のスタッフの皆さんありがとうございました。



信州子ども食堂 in あじさい

コロナに負けるな!



お弁当配布します

支えあい、助け合い、心通わせよう!

信州子ども食堂 in あじさいでは、コロナ禍の影響で苦労していることと家族に、お弁当を配布します!

開催日	3月21日(日)
時間	午前11時～正午頃 先着50名
場所	福祉の里あじさい駐車場



当日のメニュー
・おはぎ
・サラダ
・サーターアンダギー
・お菓子 等々

お問い合わせは 企業組合労働協会の
福祉の里 あじさい
塩尻市大門4番町1-3
電話・FAX (0263)51-5531
営業時間 午前8時～午後3時
(年中無休)

おいしく楽しく 子どもは風の子

松本市 信州子ども食堂 in まつまと学び塾

2月27日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in まつまと学び塾」では、コロナ禍と寒さの中、子ども31人を含む59名が参加し、美味しい中華丼とフルーツミックス、ドーナツ、チョコなどに子どもと親子は大喜び。ホットケーキ作りの子どもやバルーンアートで遊びまわる風の子たち、楽しい一日でした。



おいしいホットケーキづくり



受付で検温を受ける子どもたち



バルーンアートに夢中の子ども達。風の子たちは元気に公園で風船剣で遊び回っていました。



お野菜たっぷりて美味しそう



玄向寺様ご提供
ドーナツ



フルーツカップ



キューピー様ご提供
マヨネーズ



たくさんのご支援をありがとうございました。



悩み相談も受け付けています

寒さ吹き飛ばす 温かい支援物資

松本市 信州子ども食堂まつもと・どん八

1月7日(木)、松本市の「信州子ども食堂 in まつもと」は、新年を迎え厳しい寒さの中、持ち帰りスタイルで開催しました。子ども36名を含む62名に、信州プレミアム牛丼と稲荷ずし、チョコレートいちご、さらにアポロさんからのお菓子など支援物資をお持ち帰りいただきました。



寒い中でしたが、来てくださった皆さんの元気な顔と「ありがとう～ほんと助かります」、「寒い中、ありがとうございます」などの声が聞け、スタッフ一同とても嬉しい気持ちで新しい年を迎える事ができました。



アポロさんからたくさんのお菓子をいただきました



ご家庭で召し上がった感想として、「美味しいね～普通の牛丼じゃない」と喜びの声をいただきました。また、食育を学んだ「いちご」も、「おいしい～大きいいちご嬉しい」と喜んで食べたとのお話でした。



2月4日(木)、松本市で開いた「信州子ども食堂 in 松本どん八」。子ども26名を含む42名に、「いなり寿司」と「野菜たっぷりキャベツ鍋」などを配りました。



「沖縄クラフト&カフェちゅらね」さんから、タコライス・ラフテー丼・沖縄おにぎりなどのご寄贈があり、子どもたちから「味が良くて最高だ!」と感謝をいただきました。ありがとうございました ✨





玄向寺さんから果物もいただきました。受け取りにいらした方からは、「温かい食べ物をありがとう」、「寒い中助かります」、「作って貰えて感謝します」と、うれしいお言葉をいただきました。



3月4日(木)、松本市で開いた「信州子ども食堂 in 松本どん八」。子ども24名含む43名が訪れました。

コロナ禍の影響で家庭で過ごすことが多い子どもたちと家族らに、美味しい「いなり寿司」と「和牛弁当(サラダ&漬け物付き)」と、沖縄カフェちゅらねさんからの「沖縄お弁当」、どん八さんからのお菓子を配りました。



上田からお手伝いに来てくださった女子大生さん、子どもの学習やお手伝い、とても助かりました。ありがとうございました🍀

市民タイムス 2021年3月6日(土)



子供スタッフに食品を手渡す菊本さん

第一生命保険松本支社(松本市深志2)は4日、各地の子ども食堂が加盟する「信州子ども食堂ネットワーク」に果物の缶詰などを寄贈した。地域貢献の取り組みとして、松本市本庄1のビルで開催された子ども食堂に社員4人が訪れ、ミカンや白桃など9種類の計94缶を届けた。社内の健康増進プログラムを活用して支社

第一生命松本支社 準備も手伝う

子ども食堂に缶詰寄贈

(第3種郵便物認可)

まつもと 森

社員らは寄贈に合わせ、感染対策で持ち帰り形式とした子ども食堂の準備なども手伝った。同支社の担当・菊本繁美さんは「今後も継続して支援していきたい」と話していた。(鎌倉 希)

の約30人が歩いた歩数を換算し、基金から得られた3万3000円を缶詰の購入費に充てた。併せて有志が家庭から持ち寄った菓子やレトルト食品なども贈った。

お手伝いいただいた子ども達からは、「美味しそう～早く食べたい」の声や、お渡しした方から「美味しく作っていただきありがとうございます、とても助かります」との声をいただけて、スタッフ一同うれしさいっぱいになりました。

また、現場で食べられた方からは、「お肉がジューシーでたくさんのお野菜と相性が良くとても美味しかった」とお言葉をいただきました。



第一生命の4名に、たくさんのお食材のご寄贈とボランティア活動をしていただき、たいへん助かりました。

歓声が響き渡る 楽しいひととき

上田市 子どもレストランきらっと

3月6日（土）、上田市まるこ福祉会第31回「子どもレストランきらっと」には、子ども35名を含む115名が参加しました。今回は、ひな祭り企画で、子どもたちが英語で遊びができるコーナーを設けました。ホール内は、子どもたちの歓声が響き渡る楽しいひと時となりました。



今回は、NPO ホットライン信州（信州子ども食堂ネットワーク）も参加して「0円スーパー」も開店しました。参加者からは、「品物が豊富で信じられない、子ども達が育ち盛りなので本当に助かります」と驚きの声が上がりました。



ひな祭りメニュー、海鮮ちらし寿司、メンチカツ、和風スパゲティサラダ、柚香るお吸い物、いちご、甘酒、Doleフルーツ、雛あられ、ヨーグルト



高校生の鬼に捕まらないよう楽しんだ「英語で鬼ごっこ」



バルーンアートや恒例のタッキーの腹話術も大人気子どもたちの目をくぎ付けにしていきました。日本舞踊の踊りも3曲あり、平安時代から続く伝統文化にも触れることができました。



お店には、きのこ、じゃがいも、マヨネーズ、カップラーメン、のど飴、フルーツミックス、ドーナツなどが並びました。

◀ 外でドーナツを食べる子どもたち



「子どもの遊び場、0円スーパー、レストランきらっと」等の様子

気持ちほっこり ひょうたんランプ

中野市 だがしやG

3月7日(日)、中野市西条の「だがしやG」で、家庭で作れる「ひょうたんランプキット」と Dole 様より提供していただいた「フルーツミックス」をプレゼントしました。

参加者は、こども 191 名と大人 68 名の合計 259 名。「コロナの中で楽しい企画を準備してもらい、ありがとうございます」と多くの方から感謝の声をいただきました。



ひょうたんランプ
づくりに子どもも
大人もワクワク!!
笑笑!!
中野市も元気!



コロナ禍の影響で行動が制限され、家庭での笑顔が奪われているため、少しでも「ほっこり」とした気持ちを持ってもらいたいと企画しました。



何でも相談と無料コーナーも設置しています



NPO ホットライン信州を通じて Dole さんからいただいたフルーツミックス。ありがとうございます。



だがしやGは、信州子ども食堂ネットワークの協力により、こども衣類・学用品などの無料コーナーを設置。月に約30世帯の利用があり、年間で360世帯のサポートにつながっています。

また、だがしやGの年間利用者は、累計で約8,000人以上で、人と人がつながる場所として役割を果たしています。

進級・進学祝い BBQ弁当配布

長野市 信州子ども食堂

3月20日(土・祝)、長野市ふれあい福祉センターで開いた「信州子ども食堂」には、子ども52名と大人60の計112名が参加しました。

コロナ禍の影響で活動範囲が狭くなっていますが、今回もスタッフやボランティア全員の思いで、子どもたちの笑顔があふれた子ども食堂でした。また、愛知県の中部圏地域創造ファンドの2名が視察視察に見えました。



高校合格おめでとう

開催日前日は、県立高校の合格発表日でしたが、信州子ども食堂の子どもボランティアも無事合格。

春からは、高校生ボランティアとして活躍してくれると嬉しいな〜と思っています。



予定を変更しお弁当配布

長野地域のコロナウイルス警戒レベルが上がってしまったので、予定を変更してお弁当を配布しました。

今回は、進級・進学祝いメニューの黒毛和牛とウインナーのBBQ弁当に、お彼岸ということで手作りおはぎを添えました。



NPO ホットライン信州の理事長・村上弁護士が法律相談に対応してくれました。

たくさんの物資をご寄贈いただき、ありがとうございました



参加者は、多くの企業様からご寄贈いただいたたくさんの物資を受け取り、笑顔で帰って行きました。

来月こそは、進級・進学の子供たちと楽しくごはんを食べられたらいいな〜と願って止みません。

イチゴを添えて お弁当を提供

長野市上高田 こどもと誰でも食堂

1月25日(火)に長野市上高田で開いた「こどもと誰でも食堂」。農林水産省の食育等推進事業で“信州産いちご”の提供を受け、お弁当が華やかになりました。

コロナ禍の現在は室内での飲食を避け、お持ち帰りのお弁当で。「家族の分も」という方も多く、今回は46食を提供しました。いっしょにイチゴに関する「食育だより」とご感想などを聞くためのアンケートをお渡ししました。



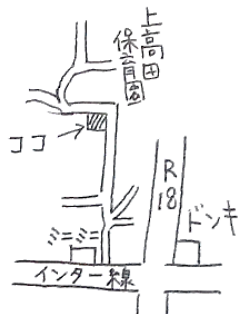
お弁当に添えた「食育だより」から一部を紹介します

イチゴの生食での消費量は、日本が世界一だと言われています。日本のイチゴ品種は約300種と多く、現在も品種改良が重ねられ個性的な品種が続々誕生しています。

メニューは、混ぜご飯、から揚げ、大根の肉巻き、五目煮豆、さつまいも・人参・ブロッコリーのバター煮、たくあん、寒餅、イチゴ。イチゴは大きくてお弁当に入りきらなかったため、別包装でお渡ししました。

お弁当におかずをせっせと詰めています

前回までのお弁当はこちら↓



参加費はひとり300円。旬の食材をおいしくいただく“一般家庭の夕食”をイメージして運営しています。献立のご希望やご感想などをいつでもお待ちしております。



「なにかな？」と、のぞき込むのも、お弁当のお楽しみ。子どもたちは、混ぜご飯が好きだそうです。

<2月の予定>

1日(月)、12日(金)、24日(水)

17時にはお渡しできるよう用意しています。日によって18時を過ぎると全ての配布を終了している場合があります。あらかじめ電話でご予約いただければ用意しておきます。

ご予約やお問い合わせは、
090-5426-3764 高橋

うれしい助かる おいしいお弁当

長野市 信州こども食堂古里カフェ

2月21日(日)に開いた「信州こども食堂 古里カフェ」の参加者は、こども16名とおとな25名の計41名。

メニューは、あんかけ焼きそば、アップルパイ、味噌汁、お茶。こどもには、お菓子の袋詰。シングルマザー家には、お米をお弁当と一緒に届けました。



募金箱にメッセージが入っていて、とても嬉しかったです



不登校の中学生2人にもお弁当を直接渡すことができ、話しもできました。引きこもりで家族との距離感が微妙な中、届けたお弁当を受け取り、前回のお弁当のお礼を言ってくださいました。「家族全員で食べてね」にうなずいてくれました。お弁当が家族の役に立っている事がとても嬉しいです。



3月21日(日)は、コロナの警戒レベルが4になってしまったので、急遽テイクアウトにしました。参加者は、こども27名とおとな26名の計53名でした。NPO ホットライン信州から届いた和牛は、最高に助かりました。

グリーンヒルズ小学校の生徒がご家族とお弁当を受け取りに来てくれました。担任の先生も来てくれて、皆が来られ無くなって残念がっていたこと、「いつか絶対行くからね」の伝言を受け取りました。

初めて参加してくださったグリーンヒルズの親御さんから「お弁当



は彩り良く、すごく美味しそう。お菓子の袋詰め、こんなに沢山いただいて良いですか?、え!お米もいただいて良いですか?すごく助かります。こども達が楽しみにしていたので、ぜひ連れて来たいです。時期をみて連絡ください約束ですよ」と言って帰られました。



「BBQ を楽しみにしていたけど、BBQのお弁当を食べれて嬉しい。寿司ケーキは食べるのもったいないぐらいきれい!」と、自宅で食べている笑顔の写真が届きました。



うれしい助かる おいしいお弁当

長野市 信州こども食堂古里カフェ

2月21日(日)に開いた「信州こども食堂 古里カフェ」の参加者は、こども16名とおとな25名の計41名。

メニューは、あんかけ焼きそば、アップルパイ、味噌汁、お茶。こどもには、お菓子の袋詰。シングルマザー家には、お米をお弁当と一緒に届けました。



募金箱にメッセージが入っていて、とても嬉しかったです



不登校の中学生2人にもお弁当を直接渡すことができ、話しもできました。引きこもりで家族との距離感が微妙な中、届けたお弁当を受け取り、前回のお弁当のお礼を言ってくださいました。「家族全員で食べてね」にうなずいてくれました。お弁当が家族の役に立っている事がとても嬉しいです。



3月21日(日)は、コロナの警戒レベルが4になってしまったので、急遽テイクアウトにしました。参加者は、こども27名とおとな26名の計53名でした。NPO ホットライン信州から届いた和牛は、最高に助かりました。

グリーンヒルズ小学校の生徒がご家族とお弁当を受け取りに来てくれました。担任の先生も来てくれて、皆が来られ無くなって残念がっていたこと、「いつか絶対行くからね」の伝言を受け取りました。

初めて参加してくださったグリーンヒルズの親御さんから「お弁当は彩り良く、すごく美味しそう。お菓子の袋詰め、こんなに沢山いただいて良いですか?、え!お米もいただいて良いですか?すごく助かります。こども達が楽しみにしていたので、ぜひ連れて来たいです。時期をみて連絡ください約束ですよ」と言って帰られました。



「BBQ を楽しみにしていたけど、BBQのお弁当を食べれて嬉しい。寿司ケーキは食べるのもったいないぐらいきれい!」と、自宅で食べている笑顔の写真が届きました。



雨の塩尻市で 支援物資を提供

塩尻市 信州子ども食堂 in あじさい・塩尻子ども食堂

3月21日(日)塩尻市の「信州子ども食堂 in あじさい」には、子ども47名を含む84名が参加・・・👨‍👩‍👧 雨とコロナ禍で思うような外出ができない中…開店の30分前から多くの子どもと家族が列をつくりました。

大きな「おはぎ」とサラダ食材やお菓子などNPOホットライン信州から支援物資をテイクアウト方式で提供しました😊。



クアアウト方式で提供しました😊。



「福祉の里あじさい」の2階、NPOホットライン信州の事務所では、相談会も行っています



市外から来た家族は「コロナ禍で、たくさんの食材をいただき、とても助かる」と感謝してくれました😊

3月21日(日)、塩尻市で開いた「塩尻子ども食堂えんぱーくマルシェ」には、子ども12名を含む48名が参加し、フードパントリーで多種多様な食材などを配布しました。



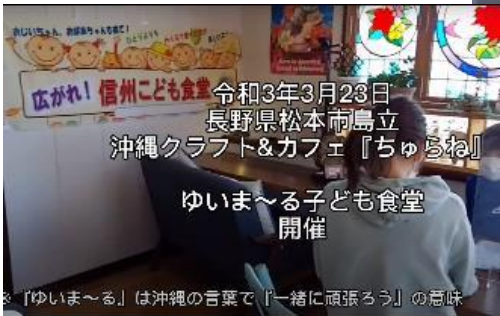
一緒にがんばる ゆいま～る食堂

松本市 ゆいま～る子ども食堂

3月23日(火)、松本市島立の沖縄クラフト&カフェ「ちゅらね」で初めて「ゆいま～る子ども食堂」を開催し、味付け黒毛和牛と 🍷沖縄料理を満喫しました❤️

ゆいま～る子ども食堂の店長藤森さんは「今回初めて、地域の皆様と協力しながら、子どもたちが安心して集えるように、ここで様々な体験と学びができる居場所にしたい」と抱負を語ってくれました。

「ゆいま～る」とは、沖縄の言葉で“一緒にがんばろう”



落ち着いた店内に入ると、ひと足先についた親子が勉強をされていました。次々とお弁当をもらって帰る家族や、店内に入り食事をする子どもら7人を含む約12名が牛丼のお弁当などを持ち帰りました。

一番乗りの親子は「りっぱな美味しい沖縄料理を食べて😊感謝をしています。コロナに負けずに、頑張ろうと思います❤️」と感謝を述べていました。

ゆいま～る子ども食堂

ゆいま～る：沖縄の言葉で「一緒にがんばろう」の意味

フリースペースの提供と沖縄料理のお弁当配布
春休みのお子たちにカフェスペースを感染拡大防止対策を徹底した上で開放いたします。

お店でゆっくり勉強や読書などして過ごすことができます。また、コロナ禍の影響で食事に苦慮している子どもとご家族に、沖縄料理のお弁当を配布します。(数量限定です)



日時：2021. 3. 23 (火)

15:00～18:00

場所：沖縄クラフト&カフェ ちゅらね

松本市島立404-2

定員：フリースペース最大7人

参加費：子ども無料、
(お弁当) おとな300円程度のカンパ

お問い合わせ・申し込み先

主催：沖縄クラフト&カフェ ちゅらね

0263-88-8083 churane34@gmail.com

共催：NPO ホットライン信州 (信州子ども食堂ネットワーク)

0120-914-994 yf52160@nifty.com

お店の場所
気をつけて来てね



みんなで協力 手作りクッキー

塩尻市 信州子ども食堂&学びサポート

3月23日(火)、塩尻市のえんぱーくで開いた「信州子ども食堂&学びサポート」は、子ども17名と大人8名(うち塩尻社協2名、ボランティア3名)の計25名で開催しました。

今回は、クッキーとパフェを学びサポートの田嶋先生の指導で手作りました。3グループに分かれて作業し、クッキーはローソンさんの小麦粉を使い、砂糖とバター分量、合わせ方とこね方、型取り、焼き方を教わりました。



家で作ったことのある子どもや、今回はじめて作る子どももいて、それぞれに楽しみながら作りました。時間の限られた中で作業で、子どもたちは、「上手く焼けるかな?〜、割れないかな?」と心配していましたが、みんな美味しそうに仕上がり大喜びでした。



パフェは、クリアコップに個々に作ってもらいました。材料は、ドールさんのカットフルーツと玄向寺さんのドーナツ、明治さんのチョコレートなどを使用しました。

いただいた物を上手に無駄なく活用し、大満足のパフェに仕上がりました。



勉強を終えた後の楽しい時間。皆で協力して作業する姿に頑張る元気をいただきました。

子どもたちは、食材を無駄にせず有効活用する「SDGs」も学びました。

お手伝いいただいた社協ボランティアさん方から丁寧にご指導いただき助かりました。ありがとうございました。



卒業に進級進学 チャレンジの春

松本市 寄り添いこども食堂

3月22日（月）、春休み中の開催となった「寄り添いこども食堂」には、今までの最多となる、こども37名を含む75名が参加。

卒業シーズンにあわせ会場に卒業ソングを流して季節感を演出。卒業🌸を迎えたこども達もいて思い出話をしたり、食事を楽しんだりする姿がありました。



「自分でおやつを作ろう！」

春休み企画には、17人のこども達が参加。ホットプレートでホットケーキを作って食べました。「自分で焼いたことがあるか」と聞くと、「やったことがない」というこどもがほとんど。アドバイスをもら



メニューは「進級進学特別弁当」と称して、黒毛和牛の焼き肉、鯖の竜田揚げ、大根干しの煮物、マカロニサラダが入ったお弁当と味噌汁。ボランティアに来てくださった民生委員さんからいただいたパイナップル🍍

お肉がたいへん好評で、「お肉がとても柔らかくて、美味しい😊❤️」という感想をいただきました。



いながら自分達で生地を作り、焼き、チョコホイップやホイップクリームでトッピングをして食べました。焼き過ぎてしまったり、トッピングがうまいかなかったことも全部、楽し

そうで笑顔いっぱいでした。自分でやってみるという経験は失敗しても楽しい！いろんなことにチャレンジしてほしいです！



じゃがりこや豆乳カルピスなどたくさんのお土産もお渡しできました。今回もたくさんの方のご参加ご協力ありがとうございました。



力と心をあわせ 550食の弁当

松本市 信州子ども食堂 in 庄内地区子ども食堂

7月10日(土)、NPO ホットライン信州は、猛威を振るう新型コロナでお困りの子ども家族らを支援しよう! 🧑🏫👨🏫👩🏫と、松本市庄内地区商工会と地区育成会合同で、信州サーモン(塩味と味噌焼の2種類)と山賊焼き入りのお弁当550食とお米、支援物資(酒まん・ジャム・カルピスウォーターやフェイスタオル)を提供し、庄内地域の公民館で配布しました😊。



お弁当作りでは子どもたちも大活躍しました



550人分の支援物資(カルピスなど)と山賊焼きをあげる並柳商工会らの皆さん

料理作りの前後に「安心手帳」を活用し「食の安全」に万全の体制を構築しました



市民タイムス 令和3年(2021年)7月11日 日曜日

手分けして盛り付けや仕上げの作業をする協力者たち



子供たちに手作り弁当

庄内地区 実行委が550食配布

松本市庄内地区の並柳商工会と地区子ども会育成会、NPOホットライン信州などで行う実行委員会は10日、地区内の子供たちに、信州サーモンと山賊焼き入りの手作り弁当550食を贈った。新型コロナウイルス

対策で気持ちが沈みがちの子供たちを元気づけようと、商工会が公民館利用団体なども協力して地区ぐるみで取り組んだ。高級食材の信州サーモンと子供に人気の山賊焼きをメニューに選んで、朝から約50人が庄内公民館に集まり、調理室や商工会員のキッチンカーで準備した。昼食に合わせて仕上げ、事前に把握した希望者数に応じ、町会公民館ごとに配った。作業は予定より早く進んだ。並柳商工会の大嶋健資会長(66)は「地域のまとまりのよさが出た」と大勢の協力に感謝し、「子供たちには希望を持って困難を乗り越えてほしい」と話していた。(白澤幸恵)

発酵のチカラでコロナ禍に勝つ 大人気カルピスご寄贈に感謝

全国食支援活動協力会 ⇒ 信州子ども食堂ネットワーク

5月26日(水)、上田市のまるこ福祉会に「カルピスウォーター」33,864本(24本入りのケースが1,411箱。重量にすると14トン超)が届きました。全国食支援活動協力会を通じて、アサヒ飲料様からいただきました。



カルピス
5/26と
6/11の
2回合わせ
て6万本
強が届く

NPO ホットライン信州の上田地区拠点になった、まるこ福祉会の駐車場に積まれた大量のケース

大型トラックで運ばれてきたカルピスをスタッフが倉庫へ運び込みました。松本拠点では受け取りに来た各子ども食堂の車へ積み込みました。



5月29日(土)、長野市の信州子ども食堂&学生応援フードパントリーで500本のカルピスを配りました。また、翌30日の信州大学松本での信州子ども食堂&学生応援フードパントリーでも配りました。(左の写真は長野市での様子)

6月11日(金)、アサヒ・グループフォールディングさまより 中野市の倉庫で、カルピス1,111ケース(26,664本)を11トン車が対応でき、フォークリフトがある(有)しび善さま受け入れてくれました。



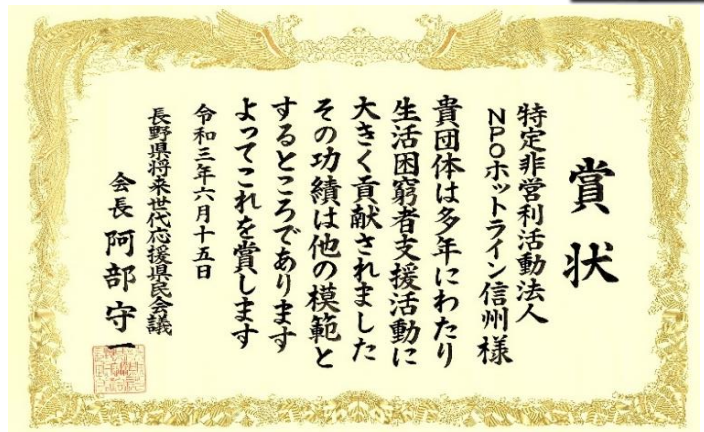
中野市児童クラブ他、約40団体へ配布
中南信方面には、松本事務所を中継点にして、全県に配布しました



コロナ禍で「子どもと親」を支える仕組みが大事

長野県将来世代応援県民会議会長 阿部守一(県知事)より表彰状授与

2021年6月15日、私共当法人は、長年にわたる青少年の健全育成活動及び子ども・子育ての「親子を支える」事業の功績に対し高く評価され、長野県将来世代応援県民会議総会において表彰を受けました。貴県民会議は、長野県の未来を担う青少年が、社会における自らの役割と責任を自覚し、豊かな社会性と優れた創造性を培い、心豊かにたくましく成長することを願って、昭和45年に「長野県青少年育成県民会議」が設立され、以降、県民総ぐるみで展開してきました「青少年育成県民運動」は、今年度、50年の大きな節目を迎えました。



▲表彰状を手に、信州子ども食堂のスタッフ

▲県民会議会長 阿部守一県知事からの表彰状

令和2年度「塩尻市豊かな、心を育む市民の集い」

8月5日(木)、令和2年度塩尻市社会福祉協議会の第3回福祉サポーター養成講座が、コロナ禍で感染防止のため、サポーター約40名が、コロナ禍でも行う「子ども食堂の必要性」について、信州子ども食堂ネットワーク青木事務局長が、「コロナ禍で子どもと親を支える仕組みを作ることが必要」地域の居場所、見守りの担い手として活動する現場の対応を求めました。



参加者の皆さんは、地域の「見守り力」の向上を目指して、信州子ども食堂夏休み「子ども&女性 応援プロジェクト」での食料や生活物資(生理用品)などの相談や配布などをやっていただけるよう要請しました。

全国食支援活動協力会との連携

「共食でつながるフェスタ」企画会議 6月3日(木)・実行委員会 8月19日(木)開催

6月3日(木)、県庁議会棟で「共食でつながるフェスタ」企画会議を開きました。参加は、全国食支援活動協力会と長野県・長野市の関係部局、信州子ども食堂ネットワーク関係者ら約30名でした。

この活動は、すべての人が食を通じて参加できる居場所づくりの推進が目的。活動団体・応援企業・地元自治体が実行委員会形式で運営し、異分野の多様な機関が力を合わせて、安定した活動が続けられる環境の構築を図ります。その取り組みとして10/1・2日「フェスタながの」開催決定。



全国食支援協会がネットワーク各拠点を視察

全国食支援協会が6月2日、まるこ福祉会(東信拠点)とだがしやG(中野市拠点)を、3日に長野市内のにっこり広場、長野事務所、長野地域振興局など、信州子ども食堂ネットワークの各拠点を視察し、担当者と意見を交換しました。



「共食でつながるフェスタ」実行委員会

8月19日(木)、長野市ふれあい福祉センターで「共食でつながるフェスタ」実行委員会を開催。参加は、全国食支援活動協力会と長野県・長野市の関係部局、信州子ども食堂関係者ら約30名が出席し10月1・2日のフェスタ内容を決めた。



企業・行政・NPO・ボランティア・地域づくり団体のご担当者様

企業&共食の力で
子どもの笑顔を守るプロジェクト

SDGs企業 パネル・ディスカッション

10月1日(金)15:00~ **参加無料**

長野市芸術館リサイクルホール
〒260-0101 長野市中央1-1-1

コロナにより、皆さんの身の回りの大切な笑顔が奪われています。子どもや家族に大きな影響が及んでいます。今こそ、SDGs17項目「パートナーシップで目標を達成しよう」を形にする時です。本セミナーの目的は、企業・行政・子ども食堂・子どもカフェ・サポート団体・地域づくり団体間の連携、人と人とのつながりを強め、支え合い・助け合いが実現できる社会を目指しています。

受付 | パネルディスカッション | 名刺交流会

14:30~15:00 | 15:00~17:00 | 17:00~18:00

ダイバーシティ推進 代表 横倉 貴裕 氏
企業・行政・子ども食堂・子どもカフェ・サポート団体・地域づくり団体間の連携、人と人とのつながりを強め、支え合い・助け合いが実現できる社会を目指しています。

長野県には
◎子ども食堂・カフェが110カ所以上もあるの？
◎子ども食堂は、必要なの？
◎SDGs企業は、何をしているの？
に答えます！

イベント概要 参加者募集中
日時：2021年10月1日(金) 15時~17時
会場：長野市芸術館リサイクルホール
定員：予約制(お申し込み順で上限あり)・入場無料
申込・問合せ：信州子ども食堂ネットワーク
(特定非営利活動法人NPOホットライン(信州))
主催：共食でつながるフェスタながの 実行委員会
お問い合わせ先：0120-914-994
https://298web.me/ks/



10/1日は、企業・団体向けのパネルディスカッションを行い、その上で、10/2日は、各子ども食堂関係者による、子ども食堂の運営についての情報交換と交流を行う。

2021.10.2(土)
14:00~18:00

企業・行政・子ども食堂運営者の方
また「子ども食堂」をやってみたい方
共食でつながるフェスタながの
子ども食堂&カフェ
子どもの居場所づくりセミナー **参加無料**

会場 長野市ふれあい福祉センター5階

「地域全体で子どもを育てる」をコンセプトに開催！
子ども食堂のネットワークから、地域のこれら子どもたちのために、できることを一緒に考えましょう

受付 13:30~

第1部 全国及び長野県下のコロナ禍の子ども食堂の取り組み 14:00~15:00

長野県 NPOホットライン信州 専務理事 青木正昭氏
長野市 信州子ども食堂 代表 町田千恵子氏
長野県 信州Gプロジェクト 代表 傳田清氏

全国食支援活動協力会 専務理事 平野賢治氏

第2部 各グループに分かれた情報交換会 15:00~16:00

イベント概要 参加者募集中
日時：2021年10月2日(土) 14時~16時
会場：長野市ふれあい福祉センター5階
条件：予約制(お申し込み順で上限あり)・入場無料
申込・問合せ：信州子ども食堂ネットワーク
(特定非営利活動法人NPOホットライン(信州))
主催：共食でつながるフェスタながの 実行委員会
お問い合わせ先：0120-914-994
https://298web.me/ks/



寄贈品の受取⇒ロジ・ハブ拠点⇒
各子ども食堂⇒活用されるまでの
物流の流れのシステム化の研修▶

“もったいない”を“ありがとう”の笑顔につなぐリレ

コロナに勝つ!おもしろいやり心 信州こども食堂応援リレーの紹介

「信州こども食堂」は、全国フードバンク推進協議会・全国食支援活動協力会を始め、協力団体・企業・お寺・個人など、多くの皆さまのご支援を賜っております。

お寄せいただいた寄贈品は、各地の「こども食堂」と必要とされている方への支援に生かしています。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。「信州こども食堂ネットワーク便り」

「SNS」等で掲載した一部を紹介させていただきます。(順不同・敬称略)



コロナ禍は、思いやりと
支え合いで乗り切ろう!

いただいた食材をフル活用する信州こども食堂ネットワークの各食堂

「信州こども食堂ネットワーク」の各こども食堂では、県内外でご寄贈いただいた食材や食品を無駄なく活用しています。

また、余った食材などは、必要としている、子ども世帯の家庭に持ち帰っていただき、家族での食卓で利用して頂いております。

2020年1月～12月までの本部事務所での取り扱い量は、**51万点・120t**のご寄贈品をいただき、多くの方々に支援させていただきました。

ありがとうございました。



「信州こども食堂」で、食材を有効に使いながら、子どもたちと一緒に、美味しく食べています。

全国フードバンク推進協議会や全国食支援活動協力会を通じて全国各地の企業様から、多くのご寄贈品が届いています。

ご寄贈していただいた、支援物資は「信州こども食堂ネットワーク」や「フードパントリー」を通じて、支援が必要な家庭に渡し、子どもと加須間の笑顔に変わっています。



支え合う 思いやりの 輪がこんなに ひろがりました (2021年4月~3)

子どもと家族を支えよう!
支え~助けあい~ 心と心がかよう 信州子ども食堂

♥あしながおじいちゃんから ご寄付を戴きました

この度は、あしながおじいちゃんや MF、US、MK さんから「コロナ禍の影響で苦労している子どもたちのためにと.....」
ご寄付を戴きました。
ありがとう
ございました。
愛・ラブ・ユ〜



ご寄付を戴き、感謝のお手紙です。

皆さんのご寄付で、子どもたちが安心して生活するために必要な活動を通じて、多くの子どもや家族が救われ笑顔が増えています。

みんなで「おじいちゃん」感謝のポーズ。



女神さまから多くの「ご寄附やギフト・図書カード等をいただいております。感謝しております。」

女神さまは以下の方々です
TI/EI/SI、KY、KK、TM 様

長野県遊技業協同組合から社会貢献福祉事業寄付金等の寄贈

青少年の健全育成や地域の安全安心、また地域福祉・医療などに役立てていただくため、長野県遊技業協同組合に加入しているパチンコ・パチスロホールの利益の一部を社会に還元しています。社会貢献の一環として毎年、社会貢献福祉事業寄付金を県内10団体へ寄付しており、2018~2020年度とNPO ホットライン信州が寄付を受けました。



「地域に取り残された子どもたちのため、寄付金を有効に活用したい」と決意を述べました。

(株)ジンコーポレーションのご協力に感謝!



(株)ジン・コーポレーション 齋藤彰宏社長から寄付金を受けました。又、お菓子のご寄贈も受けています。

食品などの物資を準備するスタッフら

富士見の池田さんとご両親さんからご寄附や図書券を戴いています。

子どもたちは、文具類や参考書などを買って勉強を頑張っています。



ろうきん松本支店と本店の青年女性委員会からご寄贈

労金2月松本、8月本店の青年女性委員会から会員から集めた寄贈品をいただいております。



食品ロス削減と社会貢献
広がる子ども食堂支援

お客様の温かい気持ちが子どもたちに伝わってくれたらと思います。

子ども食堂 運営NPO ホットライン信州

家庭への食料

子どもと家族を支えよう！ 新型コロナウイルスに「負けないぞ！」～信州子ども食堂

圓浄寺さんと玄向寺さんから お米・食材・果物の ご寄贈品を戴きました。

お寺から「おそなえ」を「おさがり」として「おすそわけ」

おてら
おやつ
クラブ

健康へお徳家の皆様は「おそなえ」のほかにも果物やお菓子を「おさがり」として「おすそわけ」し、今年も残り2ヶ月、松本に秋の味を、くみくみと食べてほしい。おすそわけです。



▲松本市の玄向寺さんからの果物とお菓子

10月1日(日) 上伊那郡宮田町の圓浄寺さんからお米 300^{kg}と食材(写真)と同日、松本市大村の玄向寺さんが果物とお菓子など(写真)が松本市の本部事務所に届きました。お檀家の皆さんからの「おそなえ」を「おすそわけ」していただきました。

早速、スタッフによって、子どもたちが新型コロナウイルスの影響で支援物資を必要としているご家庭や信州子ども食堂ネットワーク各子ども食堂に届けられています。

ありがとうございます。
宮田の圓浄寺さんからお米など



「おすそわけ」を、子ども食堂と家庭に配る、当法人スタッフ

10月3日(土)、松本市の玄向寺さんがお檀家の皆さんから「おそなえ」を戴いた「おさがり」として、子どもたちの大好きな果物(パイナップル・オレンジ・りんご)、おまんじゅうなどの「おすそわけ(写真)」を届けいただきました。早速、8日信州子ども食堂まつもと～10日台風19号被災地長野市北部の「信州子ども食堂」や各地区子ども食堂や新型コロナウイルスの影響で支援物資を必要としているご家庭に活用させていただきます。ありがとうございます。



NPOホットライン信州 各子ども食堂で活用しています。

全国のお寺から「おそなえ」を「おさがり」として「おすそわけ」

おてら
おやつ
クラブ

お寺にお預けされた「おそなえ」を仏さまからの「おさがり」として頂戴し、ご贈る皆さまへ「おすそわけ」いたします。支援を必要とするご家庭やお寺さま、団体の皆さままでぜひお申し込み、お返し申し上げます。

寺院名: 浄土宗 玄向寺
住所: 長野県飯田市大村68/
連絡先: 0263-66-1993

10月1日、松本に秋の味を、くみくみと食べてほしい。おすそわけです。健康へお徳家の皆様は「おそなえ」のほかにも果物やお菓子を「おさがり」として「おすそわけ」し、今年も残り2ヶ月、松本に秋の味を、くみくみと食べてほしい。おすそわけです。

宮下製氷冷蔵様から「ふんわり肉まん」のご寄贈いただきました

10月6日(火)、飯田市の宮下製氷冷蔵株式会社様から大きい「中華ふんわり肉まん冷凍」220^{kg}、1,350個ご寄贈いただきました。

早速、新型コロナの影響をうけている子どもたちやご家族の方と「各信州子ども食堂ネットワーク」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただきます。

多くの親子に喜ばれます。

ありがとうございます。1ケース75個入り



お問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎0120-914-994 お願いします。

県下各地で配られる！

諏訪地域 ⇒ 茅野地域 ⇒ 小諸地域 ⇒ 千曲地域

にっこりFD 長野北部地域

山ノ内地域 被災地域

信州子ども食堂まつもと 長野市台風19号被災地配布

新型コロナウイルスに「負けないぞ！」～信州子ども食堂

(株)日本アクセスさんから「食品類 1,000点」のご寄贈を受けました

10月5日(月) 株式会社日本アクセス長野支店様から、コロナ禍の環境で頑張っている子どもと家族を応援する為、鯛カレー・すりごま・水分補給ゼリー・トマトジュース・こんぶカップなどの食品類約1,100点(300kg)(写真)のご寄贈を受けました。

早速、10/8日～の信州子ども食堂松本、10/10日台風19号被災地長沼・豊野地区などの各子ども食堂や新型コロナウイルスの影響を受けた、支援を必要としている子どもや家族にご家庭に配らせて頂きます！

(株)日本アクセス皆さん ありがとうございます！



食品の提供・譲渡に関する合意書の提携



(株)日本アクセスとNPOホットライン信州が食品提携の合意書に基づき、今後も食品提供を受けることになりました。お問い合わせは、NPO法人ホットライン信州(信州子ども食堂) ☎0120-914-994

子どもと家族を支えよう！ 支え～助けあい～心と心がかよう信州子ども食堂

本郷鶏肉様から「鳥むね肉など約50^{kg}」のご寄贈 いただきました

10月7日(水) 有限会社 本郷鶏肉様から、新型コロナ禍の影響を受け、日々の食事に困窮している子どもと家庭にと、鶏むね肉スライス(冷凍品) トマト煮肉団子50^{kg}(写真)のご寄贈を受けました。早速、10月8日の信州子ども食堂まつもとや10月10日の台風19号被災地子ども食堂などの信州子ども食堂ネットワークで活用します。今後も引き続き新型コロナの影響をうけている子どもたちやご家族の方など「各信州子ども食堂」や「必要としているご家庭」にお渡ししていきます。ありがとうございます。

お問い合わせは、NPOホットライン信州(信州子ども食堂ネットワーク) ☎0120-914-994 お願いします。



- 2種チーズのトマト煮肉団子(冷凍加熱済み)
※数量=25パック ※1パック=6個
- 鶏むね肉スライス(冷凍、未加熱品)
※数量=4ケース※1ケース=15パック

長野県台風19号被災地一周年支援活動 モランボン(株)さんから「しゃぶしゃぶのたれ」の支援物資を

10月9日(金) 毎回「モランボン株式会社」さんから、新型コロナ禍の環境で頑張っている子どもたちと家族への緊急支援活動と新型コロナ感染対策防止に取り組んでいる「NPOホットライン信州」への協力として、しゃぶしゃぶ 糖質50%カット トマト&アヲ 210g(プラボトル) 112ケース=1,120本 336^{kg}のご寄贈を受けました。ありがとうございます。感謝です！

早速 10月11日～台風19号被災地支援「ながとまヨルシエ」と同日の「松本の秋のきすな村」続いて、長野県内の信州子ども食堂ネットワークや県内の各地子どもたちに配ります。

お問い合わせは、☎0120-914-994



子どもと家族を支えよう！

新型コロナウイルスに「負けないぞ」～信州子ども食堂

信州子ども食堂松本と台風19号被災地へと新鮮な野菜を提供

10月8日(木) 川上村の新鮮なレタスは80玉、白菜は60玉、約200kgを川上村役場から届けていただきました。早朝の取り立てのシャキシャキの美味しい野菜です。普段私たちがスーパーなどの店頭で目にするレタスや白菜とは見るからに鮮度が違う、日本一うまいです！早速！10/8「信州子ども食堂inまつもと」で、野菜をたっぷり入れた「豚汁」最高でした。続く、10/11の「信州子ども食堂なごともマルシェ」で配布し、またたく間になくなってしまいました。川上村の皆さま本当にありがとうございました。 ※10/11日の市民タイムス松本に掲載されました。

信州子ども食堂のまつもと学び塾

川上村役場 農業委員会 藤原正和事務局長から白菜と油井雅人さんからレタス受け取りました。(信州子ども食堂in松本)



川上村からの白菜とレタスはあっという間に無くなりました。台風被災地(豊野地区と長沼地区)



川上産野菜子ども食堂に

松本NPOへ村が提供

子ども食堂運営するNPO法人ホットライン信州に川上村の新鮮な野菜を提供し、お寺に届けた。お寺に届けた野菜は、お寺の僧侶が調理し、子ども食堂で提供される。お寺の僧侶は、お寺の土地で野菜を育て、お寺の僧侶が調理し、子ども食堂で提供される。



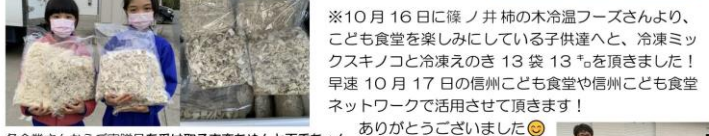
して、コロナ禍の影響を受けて、お寺の僧侶が調理し、子ども食堂で提供される。

子どもと家族を支えよう！

支え～助けあい～心と心がかよう信州子ども食堂

子どもスタッフが 長野市の企業さんより ご寄贈品を受取ました。

信州子ども食堂ネットワークの「子どもスタッフ」2名が以下企業様に受け取りに行ってくれました！ ※10月15日、オーガニック食品専門店の信州新町の株式会社ピオカ様より、子供たちにオーガニック食品を楽しんで欲しい！と有機みそとくるみのたれ 24本6kgを頂きました！



※10月16日に篠ノ井柿の本低温フーズさんより、子ども食堂を楽しみにしている子供達へ、冷凍ミックスキノコと冷凍えのき 13袋 13kgを頂きました！早速 10月17日の信州子ども食堂や信州子ども食堂ネットワークで活用させていただきます！

※10月23日に長野市篠ノ井の株式会社タカ商様よりコロナ禍で頑張っている子供たちへ、レトルト食品(国産牛カレー・筑前煮・豚角煮大根・牛丼の具等)811点約100kgを頂きました！信州子ども食堂ネットワークで活用させていただきます！また、来る11月14日の長野市のセントラルスクエアでの信州子ども食堂や新型コロナウイルスの影響で支援物資を必要としているご家庭にも活用させていただきます。ありがとうございます。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 お願いします。

子どもと家族を支えよう！

新型コロナウイルスに「負けないぞ」～信州子ども食堂

松本深志ライオンズクラブさんから白米・チョコのご寄贈品

10月13日(月)、新型コロナの影響を受け、子どもや家族など弱いところにそのしわ寄せが及んでいます。「新型コロナウイルスに負けない！」機運を高めるために、松本深志ライオンズクラブの吉岡直美さんが、同会からの寄贈品を白米130kgとチョコレートの詰め袋を50袋10kg(写真)をNPOホットライン信州に届けていただきました。吉岡さんはいつもどこかで気にかけている暖かな気持ちで連鎖して、誰かのために役に立てれば嬉しいですね。」とのこと。信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂と他、必要としている方に配布させていただきます。ありがとうございます。 お問い合わせは 0120-914-994



長谷寺さんから「おすそわけ」が届きました。

「新型コロナ対策」「被災地元気に！」信州子ども食堂にて活用

おてらおやつクラブ加盟の長野市の長谷寺 岡澤慶澄様より、10月16日におすそわけ「お米50kg(写真)」と「お菓子や小麦粉など120点60kg(写真)」が、古里カフェに届きました。早速！お米とお菓子などは各信州子ども食堂ネットワークと新型コロナ禍と被災地元気に！と活用させていただきます。長谷寺様 ありがとうございます。



長谷寺 住職 岡澤慶澄
長野市篠ノ井塩崎878
026-292-2102

秋らしくなって木漏れは涼しいですが、皆さん元気ですか。コロナの影響で暮らしの変化、意識の変化が進んでいます。が、皆さんの人と人、心と心をつなぐ活動がますます大切になります。お寺のお供えいただいたお菓子・お米をお送りします。子ども食堂や被災地の皆さまへのご支援にご活用くださいませ。手洗いうがいを励行して、皆さまどうかお元気で過ごしてくださいませ。い今後ともよろしくお祈りします。長谷寺

長光寺(上田市)さんから、ご寄贈品を戴きました。

上田市の長光寺さんから、10月16日「おすそわけ(写真)」たくさんのお菓子など約200点戴きました。ありがとうございます。各地の信州子ども食堂で、新型コロナ禍の影響を受けた、支援を必要としている子どもたちや、ご家庭に配らせていただきます。



全国のお寺から「おそなえ」を「おさがり」として「おすそわけ」

長光寺 上田市 勝越 1590
0268-42-2925
秋らしくなってきました。沢山の供え頂きましておすそわけします。みなさまでめしあがり下さい。

子どもと家族を支えよう！

支え～助けあい～心と心がかよう信州子ども食堂

松本市の玄向寺さんより 果物やお菓子の ご寄贈品を戴きました。

10月23日(金)、松本市の玄向寺さんからお檀家の皆さんから「おそなえ」を戴いた「おさがり」として、子どもたちの大好きな果物(ハイナッブル・メロン・オレンジ・りんご)、おまんじゅうなどの「おすそわけ(写真)」を届けてくださいました。早速、24日信州子ども食堂まつもと～14日長野市役所前桜スクエアでの「信州子ども食堂」や各地区子ども食堂や新型コロナウイルスの影響で支援物資を必要としているご家庭に活用させていただきます。ありがとうございます。



奈良の安養寺さんより「おすそわけ」を戴きました。

10月28日(水)、奈良県の安養寺さんから「おすそわけ(写真)」を届けてくださいました。早速28日開催の「信州子ども食堂ネットワーク」の子ども食堂や必要としている家庭などに食品品お渡ししているところです。ありがとうございます。



お寺から「おそなえ」を「おさがり」として「おすそわけ」

奈良県磯城郡河原町八尾40 安養寺内
お寺から「おそなえ」を「おさがり」として「おすそわけ」
おてら おやつ クラブ
お寺にお供えされた「おやつ」を、仏さまから私たちへの「おさがり」として頂戴し、ご縁のある皆さまへ「おすそわけ」いたします。お子さまやご友人らと分け合いながらお話ししあってくださいませ。

11月2日～26日

長野県凍豆腐工業協同組合さんからご寄贈品を戴きました

11月2日(月)、長野県凍豆腐工業協同組合様より凍り豆腐(写真 15万円相当)のご寄贈品をいただきました。こうや豆腐のレシピ集もいただき、早速各ご家庭や必要なお客さまに配らせていただきます。ありがとうございました。

フードウィークリーWEV11月3日記事
ほかにも記念日に合わせた取り組みが活発。全関東凍豆腐工業協同組合は11月2日、高野豆腐製品15万円相当を信州子ども食堂ネットワーク(松本市、事務局：NPOホットライン信州)へ寄贈。栄養豊富な凍り豆腐で、子どもたちを支える。当日は同連会の古畑洋一専務理事が、同団体の保原修子さんに製品を贈呈した。

★高野豆腐のPRでパンフレット
県内外の高野豆腐メーカーでつくる全関東(こおり)豆腐工業協同組合(長野市)は、今年制定した「高野豆腐の日」(11月3日)に合わせて、高野豆腐の健康効果などをまとめたパンフレット「もっと健康、高野豆腐。」一冊を10万部作って、タンパク質を豊富に含む高野豆腐を摂取することで、糖尿病予防や食後の血糖値の上昇抑制といった効果がある一冊をメーカーに依頼した。A5判12ページ。高野豆腐を使ったお味噌汁やカレーなどのレシピも掲載し、物販店などで配布し、各メーカーは営業に活用する。2日には、信州子ども食堂ネットワーク(松本市)にてパンフレットをメーカーの高野豆腐施設めぐり会社と併せて贈った。



当法人信州子ども食堂ネットワークスタッフ4名が、栄養価の高い、たくさん的高野豆腐を受け取りました。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎0120-914-994

子どもと家族を支えよう！ 新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

明治産業(株)様から「はちみつのだし・うめ塩飴」等をいただきました。

11月2日(月)、新型コロナウイルスで頑張っている、子どもと家族のために 明治産業(株)さんから「マカはちみつのだし 10箱」「うめ塩飴 4箱」「ほうじ茶飴 2箱」「みずすだめ餅ぶどう飴 4箱」(写真)20箱 186万のご寄贈戴きました。早速 11月5日の信州子ども食堂inまつもとを皮切りに各地区の「子ども食堂」をはじめ給食を必要としている、子どもと家族に配っていきまます。ありがとうございました。



お問い合わせは、☎0120-914-994



毎年、川上村から 白菜・野菜など沢山いただきました

11月8日(日)南佐久郡川上村の農家の林さんらから「信州子ども食堂の食材や、また必要としている方々に…」と、新鮮な白菜約200玉・ブロッコリー100株をたくさんいただきました。長野交通警備(小諸市)の細堂支所長さんが受け取り、18時に松本市の本部事務所に届けてくれました。毎年ありがとうございました。



細堂支所長さん(右)と息子さんお2人が、川上村の、良質のビタミンCが豊富な高原野菜を長時間かけて、夜遅くに松本本部事務所まで届けていただきました。⇒ 感謝です。

子どもと家族を支えよう！ 新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

宮下製氷冷蔵さんから「ふんわり肉まん」のご寄贈 いただきました

11月9日(月)、飯田市の宮下製氷冷蔵株式会社様から中華ふんわり肉まん冷凍5,625個 150万のご寄贈いただきました。早速、新型コロナの影響をうけている子どもたちやご家族の方と「各信州子ども食堂ネットワーク」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただきます。多くの親子に喜ばれます。ありがとうございました。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎0120-914-994 お願いします。

1ケース 75個 賞味期限 11/11

コロナ禍に勝つ子どもたちに夢を

11月19日「いい育児の日」 長野合同庁舎フードドライブ

11月19日(木)、「いい育児の日」月間に合わせて、長野地域振興局主催で長野合同庁舎フードドライブが行われ、過去最高の2.5万点6tのご寄贈を戴いたようです。信州子ども食堂ネットワークも多くのスタッフが参加しました。早速、11/21の「信州子ども食堂」や12/12「信州子ども食堂あもり」等などの食堂や必要としているご家庭に配られています。



ご寄贈品約25000点6tが集まりました。



JAさんから、食材を受取る吉沢長野地域振興局長
11月19日夕方のNHKテレビで放映されました
早速、北信地域の各子ども食堂で持ち帰りの活用させていただきました。また、11月21日(土)に長野市ふれあい福祉センターで開催される「信州子ども食堂」でも利用させていただきます。多くの子どもたちの笑顔が変わりました。



ご寄贈いただきました企業や市民の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

長谷寺(長野市)さん から「おすそわけ」いただきました。 「新型コロナ対策」「被災地元気に！」と信州子ども食堂にて活用

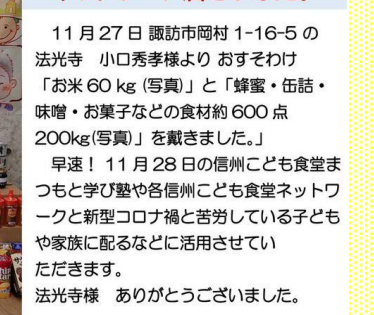
11月27日(金)おてらおやつクラブ加盟の長野市の長谷寺 岡澤慶澄様より、おすそわけ「お米90kg(写真)」と「お菓子や服飾雑貨類120点100kg(写真)」を戴きました。早速！お米とお菓子などは各信州子ども食堂ネットワークと新型コロナ禍と被災地元気に！と活用させていただきます。ありがとうございます。ごさいました。



ボランティア活動をしている信州子ども食堂ネットワークの塚田さんが受け取りに行ってくださいました。

法光寺(諏訪市)さん から「支援物資」いただきました。 「新型コロナ感染対策で子どもらに元気に！」と信州子ども食堂ネットワーク届きました。

11月27日 諏訪市岡村1-16-5の法光寺 小川秀孝様より おすそわけ「お米60kg(写真)」と「蜂蜜・缶詰・味噌・お菓子などの食材約600点200kg(写真)」を戴きました。早速！11月28日の信州子ども食堂まつもと学び塾や各信州子ども食堂ネットワークと新型コロナ禍と苦労している子どもや家族に配るなどに活用させていただきます。法光寺様 ありがとうございます。



子どもと家族を支えよう！

新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

モランボン(株)さんから2種類(食材)の支援物資を戴きました。

11月26日(木)毎「モランボン株式会社」さんから、新型コロナウイルス禍の環境で頑張っている、子どもたちと家族への緊急支援活動と新型コロナウイルス感染対策防止に取り組んでいる「NPO ホットライン信州」への協力として支援物資をいただいております。
今回も、もち麦入り「ピピンパ」の素 100g(100ケース 1,000本)と「ドレディーサラダ」セット 80g(50ケース 500本)のご寄贈がありました。
ありがとうございます。感謝です！

早速 11月28日～の信州子ども食堂まつもと学び塾を皮切りに、長野県内の信州子ども食堂ネットワークや食材を必要としている方にお配りいたします。

お問い合わせは、☎ 0120-914-994



12月2日～26日

(株)アマナ様から、Tシャツ 50着がご寄贈

12月2日(火)長野県内の子ども食堂を支援するNPO法人ホットライン信州(青木専務理事)が、御代田町役場で広告制作を手掛ける(株)アマナの 進藤社長さんからTシャツ50着(写真)の提供を受けました。御代田町小園町長も同席していただきました。



子どもと家族を支えよう！

支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

12月5日長野市の(株)イチジユウ様より、子ども食堂を楽しみにしている子供たちへ、ふりかけ・干し梅・ごま昆布等、冷凍食品「豚丼の素・ケーキ・魚の切身・大学芋・焼きそば等」約180点100万円頂きました！
信州子ども食堂ネットワークと新型コロナウイルスの影響で物資を必要としているご家庭に活用させていただきます。
ありがとうございました！😊

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎ 0120-914-994 お願いします。



子どもと家族を支えよう！

新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

圓浄寺 さんからお米とお菓子の「おすそわけ」いただきました

12月6日(上)伊那郡宮田村の圓浄寺 古藤崇志様から、おすそわけ(お米220万円・お菓子など食品類約50点写真)を戴きました。信州子ども食堂や新型コロナウイルス感染対策の影響を受けて、必要としている家族の皆様にご利用いただけます。

今回は、松本中央ライオンズクラブの会員さんが、ボランティア活動として、圓浄寺さんに「おすそわけ」を受け取りに行ってくれました。
ありがとうございました😊



子どもと家族を支えよう！

支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

松本市の玄向寺さんより 果物やお菓子の ご寄贈品を戴きました。

11月26日(木)、松本市の玄向寺さんがお檀家の皆さんから「おそなえ」を戴いた「おさがり」として、子どもたちのためにと、子ども用衣類や大根などの野菜とお菓子・おまんじゅうなどの「おすそわけ(写真)」を届けてくださいました。

早速、28日～12/3日の信州子ども食堂まつもとや信州子ども食堂ネットワークと新型コロナウイルスの影響で物資を必要としている、ご家庭に活用させていただきます。ありがとうございます。



お菓子やおまんじゅうです。

全国のお寺から「おそなえ」を「おさがり」として「おすそわけ」

お寺にお預けされた「おそなえ」を仏さまからの「おさがり」として頂戴しご贈る皆さまへ「おすそわけ」いたします。支援を必要とするご家庭やお寺さま、団体の皆さままでぜひ受け取りながら、お返し申し上げます。

寺院名: 浄土宗 玄向寺
住所: 長野県松本市大町68/
連絡先: 0263-46-1993
皆様へ各種家の皆様やご縁のある方へ「おそなえ」いただいた野菜やお菓子を「おさがり」として「おすそわけ」し、寒い冬、心を暖かくしていただきます。

子どもと家族を支えよう！

新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

波田の太田さんからりんご300万個のご寄贈がありました。



12月2日(火)波田町の太田達男さんから、りんご(ふじ)2000個300万円のご寄贈がありました。

早速、信州子ども食堂ネットワークと必要としている家庭に無料で、差し上げています。ご希望の方は、☎ 0120-914-994 へご連絡ください

続く 12月16日りんご4000個500万円のご寄贈



子どもと家族を支えよう！

新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

大正製薬(株)様からドリンク飲料「1.2万本」いただきました

12月9日(水)大正製薬(株)ドリンク飲料(ライジンハードジンジャー3,000本とリポビタンDキッズ9,000本写真12,000本1,400万円)を戴きました。
早速、12月11日Xmasプレゼント袋詰め・12日の信州子ども食堂 in あもりを皮切りに各子ども食堂と新型コロナウイルス感染対策の影響を受けている、子どもたちやご家族の方、台風19号長野市被災地と「各信州子ども食堂」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただいております。ありがとうございます。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎ 0120-914-994 お願いします。



子どもと家族を支えよう！

支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

NPO 法人フードバンク山梨から龍角散のどすっきりタブレット戴きました。

12月9日(水)、「NPO 法人フードバンク山梨」さんから、「NPO ホットライン信州」への協力として、龍角散のどすっきりタブレット(12,480袋 120%写真)を戴きました。

早速、信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂と必要としている子どもとご家族にお届けいたします。いつもありがとうございます。取り急ぎ、SNSにてご報告させていたお問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 に！



子どもと家族を支えよう！

支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

(株)龍角散様から、のどすっきり飴2種類がとどきました。

12月9日(水)、株式会社龍角散さま、「NPO ホットライン信州」への協力として、龍角散のどすっきり飴ストックとサー100箱(10,000袋 500%写真)を戴きました。

早速、信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂とコロナ禍で困窮している子どもとご家族にお届けしました。いつもありがとうございます



お問い合わせは、お申込みは NPO 法人ホットライン信州 0120-914-994 へ

松本市の玄向寺さんより お米や野菜のご寄贈品を戴きました。

2020年(令和2年)12月18日 市民タイムスの記事が掲載されましたので掲載します。

12月10日(木)、松本市の玄向寺さんが「笠地藏プロジェクト」で多くの方から戴いたお米(1t)や白菜・かぼちゃ・芋・ネギ・リンゴ・ドーナツ・ジュースなどとご寄附を戴きました。信州子ども食堂の子ども代表から感謝状を玄向寺さんにお渡ししました。

また、11日(金)にも(写真)味噌パンなどを届けていただきました。早速、11日の袋詰め、12日と19日の信州子ども食堂で、活用させていただきました。ありがとうございました。

貧困家庭に米や野菜
松本の玄向寺が寄贈
松本市の玄向寺(浄土宗)が、市民タイムスに掲載された記事によると、同寺が「笠地藏プロジェクト」を通じて、市民から戴いたお米(1t)や白菜・かぼちゃ・芋・ネギ・リンゴ・ドーナツ・ジュースなどとご寄附を戴きました。信州子ども食堂の子ども代表から感謝状を玄向寺さんにお渡ししました。

11日お米や食材の袋詰め5%、300袋作業がみんなの力で完了！12日配布した



12日信州子ども食堂での野菜やお米の配布・19日の信州子ども食堂でのお米や味噌パンなどせの食材配布

円福幼稚園の6名さんから「白米」をいただきました

「新型コロナ禍」元気にコロナに勝つ！各信州子ども食堂活用

12月19日(土)長野市篠ノ井の円福幼稚園で、6年長の子ども達がお米作りをしました。種まきから脱穀まで行なったお米を園児達が話し合い、子ども食堂にも贈りたいとのことで、「白米20kg(写真)」を大きなメッセージを添えて園児6名が、信州子ども食堂に新米を届け、食育の学びなどしてくれました。

早速！Xmasポップアップカードと一緒に創ったあとは、お土産に信州プレミアム牛肉のお弁当を持ち帰りました。昨今のコロナ禍の憂鬱した嫌なムードを明るくしてくれました。円福幼稚園の皆さんありがとうございました。



円福幼稚園の皆さんは、しっかり食育の勉強とXmasカードを思い思いに創りに夢中でした。

長野県庁オフィス・フードドライブ実施

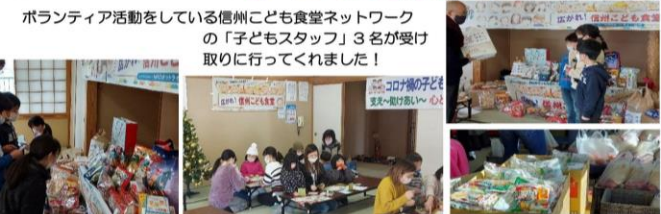
12月16日(水)長野市内に、この冬初の本格的な積雪があった厳寒の中！県庁で働くみなさま、県民の方々から、温かなお気持ちのこもった支援物資 1800点 250%が届きました。ご協力くださったみなさまありがとうございます。フードドライブ開催に合わせて、県の次世代サポート課の担当が前日の朝に登庁する職員さんにチラシを配るなどして、協力の呼びかけをしてくださいました。未来を託す子どもたちのために...担当課のみなさまにも感謝申し上げます。



長谷寺さんから「おすそわけ」いただきました

「新型コロナ対策」被災地元気に！「信州子ども食堂」にて活用

おてらおやつクラブ加盟の長野市の長谷寺 岡澤慶澄様より、12月19日に(土)おすそわけ「お米50kg(写真)」と「お菓子など600点40kg(写真)」を戴きました。早速！お米とお菓子などは12/20開催の信州子ども食堂を皮切りに、各ネットワークと新型コロナ禍と被災地の子どもたちとご家族がXmasを前に元気に！なっています。長谷寺様 ありがとうございます。



ボランティア活動をしている信州子ども食堂ネットワークの「子どもスタッフ」3名が受け取りに行ってくれました！

子どもと家族を支えよう！

支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

(株)ローソン様からビーフカレー・担々麺・カップみそ汁を戴きました。

12月1日(火)、全国フードバンク推進協議会を通じて、(株)ローソン様からビーフカレー(甘口・辛口)1000箱、担々麺(写真)360個、カップみそ汁(写真)204箱などをご寄贈いただきました。早速、新型コロナの影響をうけている子どもたちやご家族の方、台風19号長野市被災地と「各信州子ども食堂」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただいております。ありがとうございます。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州
0120-914-994 にお願います。



ローソン様からハンバーグをいただきました。

12月25日(金)株式会社ローソン様からLベーシックプレ

ミアムハンバーグ 660袋 150^gを戴きました、信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂やコロナ禍で生活困窮している家庭に配られました。ひとり親家庭の方から、「ハンバーグのお料理を子どもと食べて美味しかった」と写真付きのお礼がありました。



海鮮どん八さんから毎月たくさんのお菓子をいただいております。



KEIZ 松本店さんより、
毎回お菓子約 900 個をいただいております。



長野県台風19号 復旧と完全復興目指し被災地の力に！ グリーンヒルズ小学校から被災地復興へと寄付金など授与

12月21日(月)飯綱のグリーンヒルズ小学校に寄付金の贈呈式に信州子ども食堂「古里カフェ」米澤代表が出席。子ども達が考えた遊具 3 万円分の寄付を戴くことになりました。昨今のコロナ禍の厳しい状況下ではあるが、こういう時こそ、更なる支援活動が必要！との決意を新たにしました。グリーンヒルズ小学校の皆さんありがとうございます。



2020年(令和2年)12月22日火曜日 信濃毎日新聞

育てたリンゴ通し被災地の力に

長野の私立小児童 支援団体に販売収益寄付

子どもと家族を支えよう！

新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

塚田農園さんとチームハケ岳からりんご約 400^{kg}のご寄贈！



12月11日(木)台風19号の被災を受けた長野市穂保の塚田農園さんとハケ岳グリーンネットワーク(チームハケ岳)さんから、サンふじ約 2,000 玉 400^{kg}のご寄贈がありました。

早速、12/12の「信州子ども食堂 in あもり」を皮切りに信州子ども食堂ネットワークのと各子ども食堂と必要としている家庭に無料で、差し上げます。

ご希望の方は、0120-914-994 へご連絡ください



高鮮度の冷凍が可能に鮮度保持システム搭載のコンテナの中にリンゴを運び込む、チームハケ岳さんと塚田農園さん、今年の夏頃まで「りんご」の鮮度が保たれます。

ピオクラ食養様から大豆チップスと亜麻ドレ和風玉ねぎのご寄贈を受けました。

2月16日(水)ピオクラ食養本株式会社様より健康志向の大豆チップス 120袋 40^g、玉ねぎ・ゴマドレッシング 192本 150^gのご寄贈を受けました。

各子ども食堂と必要とするご家庭にわたします。 ありがとうございます。

ご希望の方は、NPO ホットライン信州
0120-914-994 にご連絡ください



子どもと家族を支えよう！

支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

松本市の玄向寺さんよりお米やお菓子のご寄贈品を戴きました

12月20日(日)と26日(土)に、松本市の玄向寺さんが「笠地藏プロジェクト」で多くの方から戴いた、果物ドーナツを20日に、お米を26日に戴きました。

信州子ども食堂ネットワークの寄り添い子ども食堂の田口さんが受け取り、21日の子ども食堂で配りました。「食育活動」として「みんなでなくそう食品ロス」をテーマに、戴いたものを有効活用することを学びました。



26日(土)は、信州子ども食堂 in まつもとまなび塾に玄向寺さんからお米を戴きました。お米は、小分けにして、おと連れる親子に配りました。

また、高校生のボランティア参加者の7名の皆さんをご紹介いただき、ありがとうございました。



皆様へお禮の旨様状を発送いたしました。果物とお菓子を「おどしり」として「おねわし」し、寒く冬、栄養もとれ、元気をだすことができます。合掌

浄土宗 玄向寺
松本市大村681
0267-46-1993



皆様へお禮の旨様状を発送いたしました。果物とお菓子を「おどしり」として「おねわし」し、寒く冬、栄養もとれ、元気をだすことができます。合掌



玄向寺の荻須さんが松本県ヶ丘高校「地球の会(そらのかい)」7名が参加、寒そうにしていた生徒に、使い捨てカイロを差し入れしました。

子どもと家族を支えよう！

新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

キユーピー(株)様から 食材を大量にいただきました。新年「コロナ不況」に勝つために！各地信州子ども食堂にて活用

12月25日、全国食支援活動協力会を通じて、キユーピー株式会社様から、昨今のコロナ禍で苦慮している子どもと家族のために、マヨネーズ20本×240箱の4,800本とミートソース8個×4入×150箱の800本3.5tが長野市と松本市のログ拠点に大量に入りりました。

ありがとうございます。県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークのハブ拠点と「各信州子ども食堂」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただいております。

多くの親子に喜ばれております。また、今年最後の「年越し信州子ども食堂 in 島内」を開催し、コロナ禍の子どもたちと家族がお正月を元気に迎えていただくために配布します！

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 お願いします。



(株)信州自然王国様 から「食糧品」いただきました

「新型コロナ不況」に勝つために！「信州子ども食堂」にて活用

飯田市の株式会社信州自然王国様より、12月26日(土)にアガベジャム・紅芋酢・蜂蜜酢・トマトソースアンチビなど11種類240本60kg(写真)のご寄贈がありました。

早速！新型コロナ禍の影響で苦勞している子どもたちと家族に「元気になるために」ために配ります。また、12月31日松本市島内公民館「年越し子ども食堂」でも配ります。信州自然王国様、ありがとうございました。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 お願いします。



明治ホールディングス(株)さまから「お菓子」をいただきました。

新型コロナウイルスの感染が猛威を振るう中、12月14日(月)、食事の用意が困難な家庭の子どもたちの「食」と「笑顔」を応援するため、全国フードバンク推進協議会を通じて、明治ホールディングス株式会社様より、ガルボチョコ・アーモンドチョコレート・アポロ・果実グミぶどう・銀座チキンカレー(写真)400箱、約11万個、2.4tをご寄贈戴きました。早速12月18日～31日の県内各地の信州子ども食堂ネットワークへ必要としている子どもや家族に配りました。明日をもっとおいしく、多くの子とご家族の「ありがとう」の感謝の笑顔を見ることが出来ました。お問い合わせは、0120-914-994



12/18 皮切りに、各地子ども食堂で12/19 信州子ども食堂長野市地域ネットワークで、Xmas プレゼントを子どもたちに配る



12/21 寄り添い子ども食堂で12/26 信州子ども食堂で配布

タカノ株式会社様 から「ラスク」いただきました

「新型コロナ不況」に勝つために！「信州子ども食堂」にて活用

上伊那郡宮田村のタカノ株式会社様より、12月26日(土)にラスクの、美味しいプレーン味とチョコ味の袋が、4箱合計で116袋のご寄贈がありました。

早速！新型コロナ禍の影響で苦勞している子どもたちと家族に「元気になるために」ために配ります。また、12月31日松本市島内公民館「年越し子ども食堂」でも配ります。信州自然王国様、ありがとうございました。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 お願いします。



日新製糖(株)様から「砂糖」をいただきました

1月14日(木) 全国食支援活動協力会様を通じて日新製糖様から「白砂糖」1kg袋320袋320%を長野市と松本市の物資拠点に戴きました。

信州子ども食堂ネットワークの各食堂や新型コロナ感染対策の影響を受けて、必要としているご家族の皆様にご利用いただけます。ありがとうございます。

お問い合わせ TEL 0120-914-994 NPOホットライン信州・信州子ども食堂ネットワーク



12月31日
～1月

子どもと家族を支えよう！ 支え～助けあい～ コロナ禍に勝つ！ 信州子ども食堂

立科町の信州蓼科りんごの里様より りんごなどを戴きました。

2020年12月31日(木)「年越し信州子ども食堂」で多くの方に配らせていただきました

12月30日(水)、立科町の玄向寺さんが「信州蓼科りんご」の里から、りんご10kg 13箱 156玉 130[㊦]と乾燥りんご1箱 180袋 20[㊦]をいただきました。信州子ども食堂ネットワークと当法人から感謝状をお渡しします(写真) 早速、12月31日開催の「年越し信州子ども食堂」でバラで配布し、箱は諏訪・池田・小諸・佐久地域の各子ども食堂へ配りました。ありがとうございました。



手打ちの年越しそば。60食を「東方そばの会同志会」さんがこねてくれました。



31日「年越し信州子ども食堂」でのりんごや野菜・お米の食材配布に約120名の親子連れがおと連れしました

駒ヶ根市の方から、衣類6000点 3tをご寄贈してくれました。

ドール様から フルーツミックスカップをいただきました。 新年「コロナ不況」に勝つために！各地信州子ども食堂にて活用



2月16日(火)、全国食支援活動協会を通じて、(株)ドール様から、昨今のコロナ禍で苦慮している子どもと家族のために、フルーツミックスカップ、箱の7,800個2tが松本市の本部事務所大量に入りました。ありがとうございました

県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークのハブ拠点と「各信州子ども食堂」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただいております。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州
0120-914-994 お願いします。

子どもと家族を支えよう！ 新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂 長野県出身の山口さんからご寄贈品をいただきました

1月22日(金)、猛威を振るう新型コロナの影響で家計が苦しい支援を必要としている、子どもやご家庭にと支援物資(写真)の日用品から食品までの約300点100[㊦]が送っていただきました。

ご寄贈していただいた方は、県外在住・長野出身の山口さんです。いつもありがとうございます

NPOホットライン信州 事務局の皆様

いつもお世話になります。
ご無沙汰して申し訳ございません。
コロナの影響で生活が厳しくなりました。
少量でも利用できるものが嬉しいです。
その時期インフルエンザも流行り始めて皆様ご体調にお気をつけて下さい。

山口

お問い合わせは、0120-914-994

養命酒製造(株)様から「信州りんご」のお菓子を戴きました。

2月11日(木)、養命酒製造株式会社様から、グミ@サプリ4種類各30箱3600袋840[㊦](写真)のご寄贈を受けました。早速、新型コロナの影響をうけている子どもたちやご家庭の方に、必要なものを持ち帰っていただきました。また、残りは、台風19号長野市被災地と「各信州子ども食堂ネットワーク」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただいております。ありがとうございました。

お問い合わせは、NPOホットライン信州 0120-914-994 お願いします。

松本市の玄向寺さんよりドーナツのご寄贈品を戴きました。

2月19日(金)、松本市の玄向寺さんがお檀家様(松本市社「渡辺製菓所」様)より頂戴しました、ドーナツ100個(写真)の「おそなえ」を「おさがり」として、子どもたちのために、届けてくださいました。早速、信州子ども食堂まつもとや信州子ども食堂ネットワークと新型コロナウイルスの影響で支援を必要としている、ご家庭に活用させていただきます。ありがとうございました。



2月18日~2月26日

子どもと家族を支えよう！ 新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

女性だけのカーブスさん

2月18日(木) カーブス中野店・須坂店・飯山店の3店からのご寄贈

女性だけの健康体操教室カーブスさんからたくさんのご寄贈品をいただきました。北信地区『カーブス中野・須坂・飯山』の3店舗から1,200点(計280%の食品類: 缶詰、乾麺(そうめん・うどん・パスタ)、調味料、コーヒー、お菓子、レトルト食品、お米など)が2月18日(木)に届きました。さっそく、長野県内各地の信州子ども食堂ネットワークや支援を必要としている家庭で利用させていただきます。ありがとうございました。



カーブスでは、地域社会への貢献として「カーブスフードドライブ」を展開しております。5回目の多くのご寄贈を戴きました。ありがとうございました。



▲信州子ども食堂などで利用

お問い合わせは ☎ 0120-914-994 へ

(株)ローソン様から六厘舎監修濃厚中華そば 720 個を戴きました。

2月24日(水)、全国フードバンク推進協議会を通じて、(株)ローソン様から明星食品六厘舎監修濃厚中華そば(写真)720個、120%のご寄贈いただきました。

早速、新型コロナの影響をうけている子どもたちやご家族の方、各信州子ども食堂ネットワークや「必要としているご家庭」に順次配らせていただいております。ありがとうございました。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎ 0120-914-994 をお願いします。



(株)ローソン様からラーメン・小麦粉・つゆ 966 個を戴きました。

2月26日(金)、全国フードバンク推進協議会を通じて、(株)ローソン様から芳醇しょうゆラーメン 612 個、薄力小麦粉 400g 240 個、つゆ濃縮 500ml 114 本(写真)合計 966 個 220%のご寄贈いただきました。

早速、新型コロナの影響をうけている子どもたちやご家族の方、各信州子ども食堂ネットワークや「必要としているご家庭」に順次配らせていただいております。ありがとうございました。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎ 0120-914-994 をお願いします。



松本市在住の方から写真のご寄贈の申し出がありました

サイズはスーツ4点セットが120(チェック柄) くつは18センチです。もう一つは104サイズで入園用です。どなたか欲しい方がいらっしゃいましたら無料で譲ります。ご希望の方 ☎ 0120-914-994 へご連絡ください。又は、yff52160@nifty.com に お願いします。



子どもと家族を支えよう！ 支え~助けあい~ 心と心がかよう 信州子ども食堂

明治ホールディングス(株)様から「チョコレート」を戴きました。

新型コロナウイルスの感染が猛威を振るう中。2月12日(金)、「食」と「笑顔」を応援するため、全国フードバンク推進協議会を通じて、明治ホールディングス株式会社様より、バレンタインチョコレートを(写真)90箱、1080袋、450%のご寄贈戴きました。早速 2月13日~27日の県内各地の信州子ども食堂ネットワーク「フードパントリー」や必要としている 子どもや家庭に配ります。多くの子どもやご家族の「ありがとう」の感謝の笑顔を見ることが出来ます。ありがとうございました。お問い合わせは、☎ 0120-914-994



キューピーさま から チョコホイップ をいただきました。 新年「コロナ不況」に勝つために！各地信州子ども食堂にて活用

2月19日(金)、全国食支援活動協力を通じて、キューピーみらいたまご財団様から「チョコホイップ」1200本 120%が松本・長野拠点に届きました。昨今のコロナ禍で苦慮している子どもと家族のために活用します。ありがとうございました。

県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークのハブ拠点と「各信州子ども食堂」や「必要としているご家庭」に順次配ります。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎ 0120-914-994 をお願いします。

ライオン様「薬用ハンドジェル『キレイキレイ』」



2月24日(水)にむすびさまを介して、株式会社ロジコムさまから 配送のライオン様ご寄贈の薬用ハンドジェル『キレイキレイ』230ml入り 120個 30%が届きました。さっそく、長野県内各地の信州子ども食堂ネットワークや支援を必要としている家庭で活用さ



子どもと家族を支えよう！ 新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

キューピー様から アヲハタ くちどけりんごを戴きました 新年「コロナ不況」に勝つために！各地 信州子ども食堂 にて活用

2月26日(金)、全国食支援活動協力を通じて、キューピーみらいたまご財団様から「アヲハタ くちどけりんご」800個 70%が松本・長野拠点に届きました。昨今のコロナ禍で苦慮している子どもと家族のために活用します。ありがとうございました。



県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークのハブ拠点と「各信州子ども食堂」や「必要としているご家庭」に配ります。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎ 0120-914-994 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！ 支え～助けあい～コロナ禍に勝つ！ 信州子ども食堂

マルイ大町店さんより、お菓子(写真)をいただきました

2021年3月9日(火)約780個をマルイ大町店のお客様やスタッフの皆さんから暖かいお気持ちの端玉菓子をいただきました。毎回のご寄贈に感謝も申し上げます。



2016年の熊本震災時から、ご寄贈していただいている、この思いやりのきずなが繋がるように、台風19号被災地豊野へ2月23日に被災地の子どもたちや各信州子ども食堂と必要なご家庭にお届けしております。

(株)カルナック様よりじゃがりこ 5,484個をご寄贈受けました！

3月18日(木)、株式会社カルナック様より「じゃがりこ野菜菜こぶ風味」を12個×457ケース計5484個をご寄贈頂きました！株式会社タカチホ様が北信事務所に届けてくださいました。昨今のコロナ禍で苦しんでいる子どもと家族のために、信州子ども食堂ネットワークを通じて各地域の子ども食堂に順次配らせて頂いております。



「じゃがりこ」の菓子を受け取る、信州子ども食堂のスタッフ

カルナック様、😊 タカチホ様 ありがとうございます！

お問い合わせは、
NPO ホットライン信州
☎ 0120-914-994
をお願いします。



アサヒ飲料様から 豆乳生まれのカルピスをいただきました。

新年「コロナ不況」に勝つために！各地の信州子ども食堂にて活用

3月19日(金)、全国食支援活動協力会を通じて、アサヒ飲料様から、GREEN CALPIS「カルピス」を370ml(1ケースあたり24本入)180ケース4,320個1.6tが松本市の本部事務所に届きました。ありがとうございます！
昨今のコロナ禍で苦しんでいる子どもと家族のために、県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークと「各地域子ども食堂」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただいております。



4t車で届く

お問い合わせは、NPO ホットライン信州
☎ 0120-914-994 お願いします

長野市の長谷寺さんよりお米の「おすそわけ」を戴きました



3月25日(木)長野市の長谷寺さんから、おすそわけ(お米4袋、10*写真)を戴きました。信州子ども食堂や新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けて、必要としている家族の皆様にご利用していただきます。ありがとうございます！

浄土宗 長谷寺 佛檀入 檀家 長谷川 信州子ども食堂
松本市大町161 果物やお菓子やお米は「おすそわけ」です。
0262-64-1873 季節の変わり目、寒さ厳しい中、お米を出してあげたい。

松本市の玄向寺さんよりドーナツや食材・衣類のご寄贈をいただきました

3月26日(金)、松本市の玄向寺さんからお檀家様(松本市松本「渡辺製菓所」様)よりドーナツ706個と果物や子ども用衣類480点120*写真)を届けてくださいました。早速、明日3/27信州子ども食堂まつりと信州子ども食堂ネットワークと新型コロナウイルスの影響で支援を必要としている、ご家庭に活用させていただきます。感謝です。



(株)龍角散様から、のどすっきりタブレットと飴を戴きました。

3月1日(月)、株式会社龍角散様から、コロナ禍で苦しんでいる子どもと家族にと「NPO ホットライン信州」の信州子ども食堂ネットワークの長野県長野市と岐阜県の拠点に、龍角散ののどすっきり飴とタブレット箱(1,1760袋560*写真)を戴きました。

早速、信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂とコロナ禍で頑張っている子どもと家族にお届けしました。いつもありがとうございます



圓浄寺 さんから食材の「おすそわけ」いただきました

3月13日(土)上伊那郡宮田村の圓浄寺 古藤崇志様から、おすそわけ(食材・お菓子など食品類約40点、20*写真)を戴きました。信州子ども食堂や新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けて、必要としている家族の皆様にご利用していただきます



下記のお寺から発送しました

玄向寺さんより ドーナツの「おすそわけ」を戴きました。

3月13日(土)松本市の玄向寺さんがお檀家様の渡辺製菓所様よりドーナツ50個(写真)を子どもたちのために届けてくださいました。信州子ども食堂や必要としている、ご家庭に配ります。ありがとうございます。

自然栽培熟成玄米パック【穂稀】1000食のご寄贈を受けました 新年「コロナ不況」に勝つために！各地信州子ども食堂にて活用

3月22日(月)、全国食支援活動協力会を通じて、自然栽培協会様から「自然栽培熟成玄米パック【穂稀】1000食×170g/食」170*写真)がホットライン信州本部事務所松本に届きました。昨今のコロナ禍で苦しんでいる子どもと家族のために活用します。ありがとうございます！「各信州子ども食堂」や「必要としているご家庭」やフードパントリーにて順次配ります。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎ 0120-914-994 お願いします。

長光寺(上田市)さんから「おすそわけ」いただきました。 「新型コロナウイルス対策で子どもを元気に！」信州子ども食堂にて活用

上田市の長光寺さんから、3月24日「おすそわけ(写真)」お菓子やおもちやなど、約120点60*写真)を戴きました。ありがとうございます！

各地の信州子ども食堂で、新型コロナウイルスの影響を受けた、支援を必要としている子どもたちや、ご家庭や子ども食堂などに配らせていただきます。

長光寺 上田 藤越 1530 おてら



株式会社キムフーズ様より、キムチご寄贈いただきました

3月26日(金)、長野市の(株)キムフーズ様より、キムチ60個15*写真)の御寄贈を頂きました。「添加物を使わずリンゴを使った、こだわりのキムチで子どももおいしく食べられる。今後も子ども食堂の力になりたい」と、金社長他社員も親切丁寧で笑顔が溢れる会社でした。キムチの御寄贈だけでなく、「暖かい心」を頂き、信州子ども食堂ネットワークのスタッフ一同、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎ 0120-914-994 お願いします。

3月25日～4月22日

子どもと家族を支えよう！

支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

(株)タカチホ様より「ブルーベリーチョコせんべい」のご寄贈受けました！

3月25日(木)、株式会社タカチホ様より「草津長寿せんべい」と「ブルーベリーチョコクッキー」約600個175kgをご寄贈頂きました！コロナ禍でも頑張っている子ども達やご家庭に、信州子ども食堂ネットワークを通じて順次配らせて頂きます。

タカチホ様ありがとうございました。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州
0120-914-99 お願いします。



菓子を受け取る、信州子ども食堂の子どもスタッフ



新型コロナウイルスに 負けないぞ！～信州子ども食堂

キューピー様から アヲハタ くちどけりんごを戴きました 「新型コロナ不況」に 勝つために！ 各地 信州子ども食堂 にて活用

4月7日(水)、全国食支援活動協会を通じて、キューピーみらいたまご財団様から「アヲハタ くちどけ いちご」1,520個130kgが届きました。



ありがとうございます
ございました



4/10日松本合庁での信州子ども食堂や昨今のコロナ禍で苦慮している子どもと家族の皆さんに配布しています。

お問い合わせは、
NPO ホットライン信州
0120-914-994 へ



子どもと家族を支えよう！

新型コロナウイルスに 負けないぞ！～信州子ども食堂

キッセイ薬品工業様より乾麺そばのご寄贈いただきました

4月6日(火)、松本市のキッセイ薬品工業株式会社様より(写真)、乾麺そば(200g×64袋、そばつゆ128袋をいただきました。コロナ禍で苦労を余儀なくされている学生や子どもたちの支援物資として、4月10日開催の信州子ども食堂&フードパントリーでお配りいたします。また、残りは信州子ども食堂ネットワークや必要な子育て家庭へ配布します。スタッフ一同、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州
0120-914-994 お願いします。

支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

長門牧場様よりアイスクリーム482カップいただきました

4月15日(木)、小県郡長和町の(株)長門牧場様からアイスクリーム120mlストロベリー・バニラ・チョコレート・フローズンヨーグルト(写真)482個をいただきました。コロナ禍で苦労を余儀なくされている、学生や子どもたちの支援物資として、4月17日開催の信州子ども食堂ネットワークや必要な子育て家庭へ配布します。スタッフ一同、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

「美味しいアイスクリームをいただきました」と感謝をする女子大生の皆さん



お問い合わせは、NPO ホットライン信州
0120-914-994 お願いします。

4月16日(金)、長野県庁ロービーで「学生応援フードドライブ」が行われ、ご寄贈者33名(団体含む)、672点、194kg集まりました。県庁職員と県民のみなさま方のご協力ありがとうございました。すでに4月からご寄付いただきました品々を含め、新型コロナウイルス感染症の影響で生活が変化した学生のみなさまを応援しようと、5月1日(土)「信州子ども食堂inフードバンク&フードパントリー」長野市桜スクエアと5月8日(土)「学生向け食料配布in県庁」長野県庁での配布させていただく他、信州子ども食堂ネットワークの各団体でも活用させていただきます。

JA中央会さま より お米2トンご寄贈 いただきました



長野市へお米1トン運搬の様子

2キロ袋×500袋(1トン)中野市の子供たちの為に



4月21日(水)中野市へ1トン
4月22日(木)長野市へ1トン
のお米 合計 2トン

コロナにより、大変な家庭・学生の力になりたいという想いでJA中央会さまより、お米の御寄贈を頂きました。すべて精米して学生・家庭へ配りやすいようにと2キロの袋に分けるなど御配慮を頂き、1000袋の準備から運搬まで行って頂きました。学生・子ども食堂の支援で大切にさせていただきます。ありがとうございました。

信濃毎日新聞 2021年4月23日



学生支援へ 県産米2ト寄贈
県農協中央会(長野市)は、精米済みで2キロずつ5000袋(1トン)に小分けした、新型コロナウイルス感染症で生活が変化した学生のみなさまを応援しようと、5月1日(土)に県庁で県産米を寄贈した。米は県内の子ども食堂の運営に活用してもらう。

同会の伊藤茂吉が、長野市若里の信州アクトレス事務所敷地内にある同ネットワーク倉庫を訪ねた。伊藤は倉庫に「お米を配るのに、子どもにも活用してほしい」と話している。同ネットワークの倉庫は、同ネットワークの拠点に送った。

須坂長野東インター北側の開発計画について須坂市などが開いた説明会の1日。

倉庫前で伝田(右)と、米袋を手渡す伊藤(左)。

同ネットワークは25日午後1～3時、倉庫前で「フードドライブ」を開き、賞味期限が1カ月以内で学用品やスタンプ食品に加え、学用品やおむつなどを募る。倉庫は冷蔵できるため、他のフードドライブでは断れないと多い生鮮食品も持ち込める。問い合わせは同ネットワーク0120-914-994へ。



子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

4月24日(土)「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」には、新型コロナウイルスの影響で苦慮している子どもと家族・学生に、讃岐うどん・ドーナツ・アイスクリームとお米5キロ・ネギ・味噌などの支援物資が配られました。



松本市島内東方公民館の讃岐うどん同好会のみなさんに、100食のうどんをつくっていただき



無量寺様より採りたてのネギをいただき、皆さん持ち帰り。家で食べたら「とても美味しい」とのことでした。



塩尻市の無量寺様より採りたてネギの寄贈

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

(株)マツワ食品様よりサーモンとキャベツいただきました

5月21日(金)、長野市の(株)マツワ食品様からサーモン200個10キロとキャベツ160玉100キロ(写真)をいただきました。コロナ禍で苦労を余儀なくされている、学生や子どもたちの支援物資として、5月22日開催の信州子ども食堂を皮切りに、寄り添い子ども食堂や信州子ども食堂ネットワークや必要な子育て家庭へ配布します。スタッフ一同、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州
0120-914-994 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！
新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

右衛門会社トザワ 様より、こんにやくご寄贈いただきました

5月に、長野市のトザワ様よりこんにやく各種600点600キロを頂きました！信州子ども食堂ネットワークを通して、各子ども食堂で提供させて頂いております！スタッフ一同、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

長谷寺・玄向寺・白心寺さんより「おすそわけ」を戴きました。

4月27日に長野市の長谷寺さんから、信州子ども食堂古里カフェにお米20キロやお菓子等。5月11日、松本市の玄向寺さんが波田の友人からネギボウス18kgと長ネぎを戴いてきてくれました。また、宮田村の白心寺さんより、お米40キロと砂糖50キロお菓子・飲料水・乾物など120個(写真)の「おそなえ」を「おさがり」として、子どもたちのためにと、届けてくださいました。早速、新型コロナウイルスの影響で支援を必要としている、ご家庭と各地の信州子ども食堂ネットワークで活用させていただきます。ありがとうございます。早速、新型コロナウイルスの影響で支援を必要としている、ご家庭と各地の信州子ども食堂ネットワークで活用させていただきます。ありがとうございます。早速、新型コロナウイルスの影響で支援を必要としている、ご家庭と各地の信州子ども食堂ネットワークで活用させていただきます。ありがとうございます。



長野市の長谷寺さんと玄向寺さんの友人

子どもと家族を支えよう！
新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

アサヒ飲料様からカルピスウォーターをいただきました。
乳酸菌と酵母による、発酵がもつチカラで「コロナ禍」に勝つ！子ども食堂



5月26日(水)、全国食支援活動協力会を通じて、アサヒ飲料様から、美味しい「カルピスウォーター」を436ml(1ケースあたり24本入)1,411ケース33,864個14tがまるご福祉会(上田)に届きました。ありがとうございます。

昨今のコロナ禍で苦慮している子どもと家族のために、県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークと「各地域子ども食堂」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただきます。早速、5/30開催の信州大学松本での信州子ども食堂&学生応援フードパントリーで配られます。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州
0120-914-994 をお願いします

NPO ホットライン信州の上田地区拠点のまるご福祉会の駐車場



NPO ホットライン信州の拠点倉庫・運び込みをするスタッフら



NPO ホットライン信州の松本地区拠点で各子ども食堂が受取

アサヒ・グループフォールディングスさまよりカルピスを寄贈いただきました。6月11日(金)、中野市の倉庫で、カルピス1,111ケース(26,664本)の受入れを行いました。10トン車が対応でき、フォークリフトがあり、20パレットおけるスペースがあるところが見つからず、受入れ困難でした。しかし今回、(有)しん善さまが、すべてを手配してくださり、受入れ可能となりました。心より感謝申し上げます。



6月20日のフードパントリーでもカルピスは大人気で、子ども58名と大人54名に食材を提供しました。

子どもと家族を支えよう！

支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

宮田村の圓浄寺さんよりお米 松本市の玄向寺さんより
・砂糖・食材をいただきました ドーナツをいただきました



6月17日(木)上伊那郡宮田村の圓浄寺 古藤崇志様から、おすそわけ(砂糖 120kg・お米 10kg・お菓子など食品類 約260点(写真)を戴きました。

また、同日夕方、松本市の玄向寺さんからお檀家様(松本市 惣社「渡辺製菓所」様)よりドーナツ76個(写真)を届けていただきました。信州子ども食堂や新型コロナ感染対策の影響を受けて、必要としている子どもやご家族の皆様にご利用していただきます。ありがとうございます。

NPOホットライン信州

全国のお寺から「おすそわけ」を「おすそわけ」として「おすそわけ」



お問い合わせは、NPO ホットライン信州
0120-914-994 お願いします。



子どもと家族を支えよう！

新型コロナウイルスに 負けないぞ！～信州子ども食堂

長野県労働金庫・同労働組合様から生理用品「2パック」
2,790個ご寄贈！信州子ども食堂ネットワークにて配布始まる

7月17日(土)長野市開催の信州子ども食堂で、長野県労働金庫及び同労働組合様、労使双方から「生理用品ナブキン2,790個」を経済的な理由などにより、生理用品を購入できない方への無償配布して欲しい旨、受け取りました。早速、信州子ども食堂ネットワークを通じて配布して行きます。



長野県労働金庫小池政和理事長よりご寄贈品の目録と同労働組大澤真也委員長から寄贈品が女性を代表して高校生2人に手渡されました。



お母さんや女性の皆さんが次回の申し込みをいたしました。



市内の高校生が寄贈品を受取、長野県労働金庫小池理事長(左奥)と同労働組大澤委員長に感謝状を読み上げ、お渡ししました。



女性応援プロジェクトも、各会場同時開催し、生理用品を必要な方360名にお渡し、様々な生活相談をしました。



支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

コロナ禍 長野市に「寄付金型自動販売機」設置！

長野牛乳さんが NPO ホットライン信州の信州子ども食堂ネットワークに売上金の一部を寄付する



6月28日(月)、NPO ホットライン信州へ自動販売機の手数料1%をダイドーさんと一緒に寄付する、自販機を設置してくれました。



長野牛乳さんは、毎回牛乳を「信州子ども食堂」に提供して戴いてきました。

自販機の前でホットライン信州のスタッフの子どもから記念の花束を受け取る長野牛乳の従業員女性とボランティアの子どもたち。



6月29日(金) 信濃毎日新聞



NPO ホットライン信州 州街に飲料の自動販売機(松本市と大田町)を、長野市に初めて設置し、長野市に設置された。今後、長野市に設置される。長野牛乳さんの提供した牛乳の一部を信州子ども食堂の運営資金としてホットライン信州に前払いした。

ダイドーさんが売上金の1%、長野牛乳が販売料の1%を贈る。自販機に販売する牛乳の銘柄は、長野牛乳が提供している。長野牛乳は、牛乳を子どもにも提供している。

ホットライン信州は、県内約100カ所の子ども食堂を支援する。信州子ども食堂ネットワーク(松本市・志賀町・青井)の運営資金に充てるというダイドーさんと信州子ども食堂のスタッフが話し合った。

長野に子ども食堂支援自販機 売り上げの一部を寄付

新型コロナ対策

信州サーモンの愛情お弁当で笑顔になる「広がれ！信州子ども食堂」

NPO ホットライン信州では、猛威を振るう新型コロナで お困りの 子どもたちを支えよう！と、信州サーモン(吟醸漬焼き)やお米(県産うるち米) & 支援物資(カルピスウォーターやフェイスタオル・ジャム)などの提供を 信州子ども食堂ネットワークの子ども食堂を通じて配布しています。信州サーモン予約4,500人分は終了しました。

4,500人完！実施期間～7月31日

今回の信州サーモン2切れ・お米/1人各100gは、各子ども食堂からの申し込みが多く、6/26日無事終了いたしました。ありがとうございました。



圓浄寺さんからお米とお砂糖の「おすそわけ」いただきました

9月9日(木)上伊那郡宮田村の圓浄寺 古藤崇志様から、おすそわけ(お米 20kg・砂糖 72kg・お菓子など食品類約60点(写真)を戴きました。

信州子ども食堂ネットワークや新型コロナ感染対策の影響を受けて、必要としている家族の皆様にご利用していただきます。

今回は、南信地域の子ども食堂の皆さんが、本部事務所に来ていただきましたので、その場でお渡しすることもできました。圓浄寺さん... ありがとうございます。



8月5日～8月27日

支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

愛知県半田市の市野利春さん
より海産物をいただきました

松本市の玄向寺さんより
ドーナツ・じゃが芋(男爵・
アンデス赤等)をいただきました

7月30日(金)愛知県半田市子ども食堂のスタッフをしている市野利春さん、玄向寺さんの紹介で、海の幸・わかめなどを届けていただきました。31日(土)松本市の玄向寺さんからお禮家様(松本市惣社「渡辺製菓所」様)よりドーナツ150個とジャガイモ15kg(写真)を届けてくださいました。信州子ども食堂や新型コロナ感染対策の影響を受けている方へと、8月5日(木)の「信州子ども食堂 in まつもと」と信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂や必要としている子どもやご家族の皆様にご活用していただけます。ありがとうございます。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州
0120-914-994 にお願いします。

▲いろいろな美味しい
品種のジャガイモです。

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

松本ユネスコ協会様からホットライン信州に 20万円のご寄付

8月24日(火)、松本ユネスコ協会様から、昨今の新型コロナウイルスの感染が猛威を振るう中、生活困窮している、子どもや家族を応援している、当法人「NPO ホットライン信州」に20万円のご寄付をいただきました。松本ユネスコ協会大島三起夫会長他役員の方からは、「子どもの活動が、更に、子どもや家族のために、役立てて欲しい・・・」との熱い思いを託されました。各地の信州子ども食堂ネットワークを通じて、支援活動を展開していきます。ありがとうございます。



子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

国際ソロプチミスト松本様からホットライン信州に
30万円のご寄付を戴きました

8月28日(土)、国際ソロプチミスト松本様から、昨今の新型コロナウイルスの感染が猛威を振るう中、生活困窮している、子どもや家族を応援している、当法人「NPO ホットライン信州」に30万円のご寄付をいただきました。国際ソロプチミスト松本本郷由美子会長他役員の方からは、「子どもや家族のために、引き続き頑張ってください・・・」との熱い思いを託されました。各地の信州子ども食堂ネットワークを通じて、支援活動を展開していきます。ありがとうございます。

市民タイムス 令和3年(2021年)8月28日

松本市の女性奉仕団
・国際ソロプチミスト
ト松本は28日、同市寿
北5のNPO法人・ホ
ットライン信州に30万
円を寄付した。新型コ
ロナウイルス禍で開催
できなかった対面での
例会の費用を「女性と
子供ののために役立て
て」と寄せた。
ホットライン信州が
運営する「信州子ども
食堂 in まつもと」を
訪れ、本郷ゆみ子会長が
学び塾の子供運営スタ
ッフに手渡した。寄付
は会員の提案を受けて

子ども食堂へ30万円寄付

ソロプチ松本
ホットライン信州に

「会一一致で決めたい
い「引き続き活動頑張
つて」と激励した。
「10カ所以上でサポー
トしている全県のこと
も食堂に活用したい」
と感謝した。
(有賀文香)



寄付に対する感謝状を受け取る
本郷会長(中央右)ら

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

松本市の玄向寺さんよりドーナツ他 寄贈品を戴きました。

8月21日(土)、松本市の玄向寺さんからお禮家様(松本市惣社「渡辺製菓所様のドーナツ他)よりたくさんの食材や子ども服など「おそなえ」を「おさがり」として、子どもたちのためにと、多数の応援物資を届けてくださいました。早速、明日からの信州子ども食堂まつもとや信州子ども食堂ネットワークと新型コロナウイルスの影響で支援を必要としている、ご家庭に活用させていただきます。ありがとうございます。



全国のお寺から
「おそなえ」を
「おさがり」として
「おすそわけ」
お寺ら
おやつ
クラブ
お寺にお礼をいただいた「おそなえ」を
松本市からの「おさがり」として
「おすそわけ」させていただきます。
ご提供いただいたおそなえや、おそなえ
の提供を必要とするご家庭や子ども、ご家族
の皆さまに活用させていただきます。

9種の愛情冷凍弁当で笑顔になる
「広がれ！信州子ども食堂の輪」

NPO ホットライン信州では、猛威を振るう新型コロナでお困りの子どもたちや女性を応援しよう！と、(株)クラダシ様のご協力を得て「9種の冷凍愛情弁当」や「生理用品」などの提供を信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂を通じて配布します。3,800食 限定です。ご希望の各子ども食堂は、お早めにお申し込みください。

実施日期間 8月7日～8月30日

賞味期限8月27日30日の数量限定で終了いたします。各子ども食堂の申し込みはホットライン信州のメール・ライン・HPなどで、必要人数を申し込んで下さい(配布者の名簿提出は必須です)



- お弁当の種類は 選べません
- タルタルチキン南蛮
 - もち麦ご飯と鶏唐揚げ
 - 炒飯麻婆豆腐
 - 彩野菜の豆腐
 - ひじきご飯とみぞれチキンカツ
 - チーズリゾット
 - もち麦ご飯の三食そば
 - もち麦ご飯のチーズハンバーグ
 - ヒレかつカレー

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

(株)ローソン様から明星中華そばと明星豚骨
ラーメン 4,000 カップ 400 千円をいただきました

8月27日と9月15日、全国フードバンク推進協議会を通じて、ローソン様 から 明星中華そばと明星豚骨ラーメン 4,000 カップを400千円をいただきました。爆発的な、コロナ感染下の中で苦慮している子どもと家族のために、信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂に配っています。ありがとうございます。



9月2日～9月13日

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

パントリー・システム様よりお菓子の ご寄贈品を戴きました。

9月2日(木)～4日(土)、爆発的なコロナ感染下で、苦勞している子どもたちのために、株式会社 パントリー・システム様から、かりんとう(黒糖や紅茶味など)約1万袋超える、お菓子をいただきました。
今回は、信州子ども食堂ネットワーク協賛地域「ゆる笑 happy」の子ども代表から、パントリー・システム様からたくさんのお菓子を戴いたお礼の感謝の言葉を添えて、感謝状をお渡ししました。
信州子ども食堂ネットワークと新型コロナウイルスの影響で支援を必要としている、ご家庭に活用させていただきます。



お菓子のお礼に感謝状を読み上げる子どもスタッフ



子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

9月2日(木)、北熊井営農改善組合様から無農薬のジャガイモ 200 ㍑を戴きました。小松千万蔵組合長から、遊休農地を活用してできた野菜などを、生活困難者支援で活躍しているホットライン信州に寄贈していただきました。

北熊井営農改善組合様から無農薬のジャガイモ二百㍑を戴きました。

9月3日(金)市民タイムス
お問い合わせは、NPO ホットライン信州
0120-914-99 お願いします。

農産物支援 農産物支援 農産物支援
農産物支援 農産物支援 農産物支援
農産物支援 農産物支援 農産物支援

ジャガイモ200㍑寄贈
信州子ども食堂ネットワーク協賛地域「ゆる笑 happy」の子ども代表から、北熊井営農改善組合様から無農薬のジャガイモ 200 ㍑を戴きました。小松千万蔵組合長から、遊休農地を活用してできた野菜などを、生活困難者支援で活躍しているホットライン信州に寄贈していただきました。



担当した組合員の南沢さん、支援が必要と思われるご家庭にも感謝状を出さずにはいられず、感謝状を渡す機会も増え、お礼の言葉もたくさん聞かれました。小松さんは「子供たちも喜んで食べてくれて、元気がよくなりました」と話していました。(高石雅也)



ホットライン信州のスタッフがジャガイモを贈る(左から)南沢さんと小松さん

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

JAグリーン長野、Aコープ直売会、南長野支部生産者様多くの生産者様のご協力いただきました。

JAグリーン長野、Aコープ直売会、南長野支部生産者様多くの生産者様のご協力のもと、毎日沢山の野菜や果物等を頂いております。珍しい物や慣れ親しんだ物を頂き、各子ども食堂で今まで以上に野菜料理が提供出来るようになり、野菜好きになった子どもたちが多くいます！
ありがとうございます
ございました



子どもと家族を支えよう！
新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

ADK 様から ポーク(ロース)・ビーフ(バラ)肉 いただきました。

新年「コロナ不況」に勝つために！各地信州子ども食堂 NW にて活用

7月～9月、全国食支援活動協力を通じて、ポークとビーフの各1パック1㍑、70kg×2種類の140㍑をADK様からいただきました。
昨今のコロナ禍で苦慮している子どもと家族のため、バーベキューや肉料理・お弁当など約1000名の方が美味しくいただきました。
エプロンや教材などもいただき、多くの親子に喜ばれました。ありがとうございました



美味しいお肉弁当は、好評でした。



野外BQは最高でした。

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

王将のお子様弁当 400 食の提供を受けました。

8月11日～9月13日、全国食支援活動協力を通じて、王将のお子様弁当の提供をアルピコプラザ松本店・上田店・諏訪店でいただきました。
猛威を振るうコロナ禍で苦慮している子どもと家族のためにと約400食を美味しくいただきました。多くの親子に喜ばれました。感謝の言葉が寄せられました。ありがとうございました



子どもと家族を支えよう!

デリシア様からこしひかり
153キ。いただきました。

9月15日(水)、株式会社 デリシア 様 から
長野県産・あずみ野産こしひかり 21袋 153キ。
いただきました。
猛威を振るうコロナ禍で苦慮している子どもと
家族のために、信州子ども食堂ネットワークの各
子ども食堂に配っていきます。
ありがとうございました



子ども応援プロジェクト

コロナ禍で苦労している 中学生以下の子どもたちへ

NPO ホットライン信州(信州子ども食堂ネットワーク)
では、爆発的なコロナ感染拡大の中で、弱い立場にある...
子どもたちにそのしわ寄せが及んでおります。コロナ化で
苦労している、子どもたちを応援しようと「子ども応援
プロジェクト」を、地域の居場所として長野県内にある
信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂が物資の
提供などの応援をしておりますので、
ご利用ください。



京都の農産物を味わってもらえることを楽しみに、
京都府農林水産部さまからの協力でいただけます。

9月2日入荷 宇治茶
3種類 6,000袋



9月7日入荷 どんら焼き 15,000個

9月10日入荷 お米10ト

※その他の企業様から お菓子など 9月2日入荷 お菓子 かりんとう各種約1万袋

9月2日~29日の間、京都府農林水産部を通じて「京風のどんら焼き(3万個)・京都茶(1万2千袋)・酒米(月桂冠15ト)」が入荷・受取・配布・配達をみんなの協力が実っています。山之内・長野市・中野市・飯田市・伊那市・諏訪市・上田市・小諸市・中信地域の子ども食堂のスタッフが受け取りにきたり、更に、スタッフが配達や届けに行ったりの活躍で、多くの子どもたちの笑顔がみられます。

これからの一時...美味しいお菓子やカレーライス・チャーハンなどを食べて、ほっとする一時のお茶がうれいしですね。 その他に、佃 煮:40g×2,005個、ふりかけ:2g×900個が予定されています。



皆の心と力合わせ!

不安や困難を抱える女性を応援します
あなたの助けになる 相談先があります

一人で悩んでいませんか?
まずはお電話ください。



地域	住所	相談・居場所	担当・連絡先
本部	松本市寿北5-4-28-1	NPOホットライン信州 信州子ども食堂ことぶき	青木正照 0263-75-8368
北信長	長野市上駒沢355 コーポ野田102西	信州子ども食堂 古里子どもカフェ	米澤八重子 090-6473-9455
東上	上田市長瀬2885-3 まるこ福祉会内	信州子ども食堂 まるこ相談事務所	小室邦夫 090-5329-1653
中松	松本市里山辺3370-5	他世代交流 居場所 寄り添い子ども食堂	田口恵子 090-1433-2210
塩尻	塩尻市広丘吉田3003 今井医院2階	コーチング事務所 時の 駅	八島恵保 090-4373-2055
伊那	南箕輪村407-1 まりんべんとう	信州子ども食堂 まりんべんとう伊那	小林 治 090-1868-3413
岡谷	岡谷市長池小萩2-10-6-1F	子ども食堂 学び舎 楽人	曾根原裕美 090-4913-5598

NPO法人ホットライン信州へのご寄附を 信州子ども食堂ネットワーク

すべては、信州の子ども達の笑顔のために!

「信州子ども食堂 ネットワーク」は、
長野県内の子ども食堂約110ヶ所が、
その地域に根ざしたローカル色(食)ある
子ども中心の居場所です。
NPOホットライン信州も独自のこども
食堂を運営するとともに、県内外の
子ども食堂へ、食材や生活物資の提供
と運営相談などのサポートしています。
目標は、子どもたちが自ら歩いて気軽
に行ける居場所370カ所を目指して
日々活動しています。こども達へ食材
・物資を安定的・継続的に届けるため
に皆さまの「善の力」が必要です。
ご協力を宜しくお願致します。



ご寄付のお願い

企業さま

- 団体・法人寄付 1口 10,000円~
- お店・事業所など「子ども食堂募金箱」
の設置協力
- 飲食店・販売店でのチャリティー寄付
- 食材提供や寄付

個人さま

- 個人寄付
- 個人さまからの食材提供

※信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂
や長野県内様々な場所でフードドライブを開催
しています。

ex) 期間限定の寄付メニュー
通常価格 ハンバーグ定食700円
寄付付き ハンバーグ定食730円
(30円の寄付)
※5月こどもの日・12月クリスマスに



皆様からのお金による ご寄付を受け付けております。
皆様から頂きました ご寄付は、支援活動や運営費に有効に使わせて頂きます。

ご寄付の御相談 ☎ 0120-914-994 ☎ hotline@kki.biglobe.ne.jp

特定非営利活動法人NPOホットライン信州【信州子ども食堂ネットワーク事務局】

寄付先

ゆうちょ銀行へ振り込む場合
店名一八 店番118
番号3234950
名義 トク化(1)カド'ウカジ'ウ
イビエ-ホネットライン信州

八十二銀行寿支店へ振り込む場合
普通360365
名義 トク化(1)カド'ウカジ'ウ
イビエ-ホネットライン信州



こども食堂/カフェへ 食材を届けるプロジェクト

すべては、子ども達の未来のために!

「信州子ども食堂 ネットワーク」では、こども・家族の生活困難な家庭へ食材を
届ける為にSDGs企業さまからの食材を募集しております。お近くの事務所の地域
担当者へ御連絡ください。

SDGs企業さまからの御協力をお待ちしております。



地域	住所	担当・連絡先	生鮮食品受入
飯山	飯山市照里1170-5	傳田 清 080-3541-7377	
中野	中野市西条1089 だがしやG	傳田 清 080-3541-7377	
長野	長野市若里7-7-2 オフィスリンク	小林尚貴 090-7834-1228	受入可 大型冷蔵冷凍庫あり
東信上	上田市長瀬2885-3 まるこ福祉会	小室邦夫 090-5329-1653	受入可 大型冷蔵冷凍庫あり
中松	松本市寿北5-4-28-1 (大型 松本市寿北5-1-7)	青木正照 0263-75-8368	受入可 業務用冷蔵冷凍庫あり
伊那	南箕輪村407-1 まりんべんとう伊那	小林 治 090-1868-3413	
岡谷	岡谷市長池小萩2-10-6-1F 学び舎 楽人	曾根原裕美 090-4913-5598	

皆さまの「善の力」は結果でお返しします。

こども食堂のつくり方

こども食堂には、いろいろな形と多様性がありますが、「こうでなければ」という決まりはありません。

「なにかをはじめたい」という方のために「こども食堂のつくり方」のイメージを簡単に紹介します。

まず 準備として
イメージしてみましょう

- 月に何回開くか
(月 1~2 回が多い)
- 1 回の利用者数は何人か
(1 回 20~30 食が多い)
- どんな人に来てほしいか
(子ども・親・サポーター)

他地域の実施例を見学

「長野県各地の『こども食堂』」を参考に、お近くのあるいは自分の思いと共通するような場所へ見学に行ってみましょう
(公民館・お寺・個人宅など
数力所見学)

よし！ やってみようと思
ったら、まず **実行**

仲間を集めましょう

開催の周知や会場の準備、食材の手配、料理、片付けなど、仲間と分担するのがおすすめ

「場所とネットワークを」はじめてから仲間や協力者が増えていくこともあります(食材を提供する方、調理師・栄養士の方、資金の提供者やボランティアの募集)

<実際に考えるあれこれ>

● **場所**
公民館などの公共施設、お寺、個人宅、飲食店など。利用者数にあわせて、無料または安価で利用でき、こどもたちが集まりやすいのが良い。

● **運営費**
場所代、光熱水費、食材費(子ども無料・大人100~300円のカンパ)、チラシ作成などの宣伝費

● **周知・呼びかけ**
こどもたちへどのように知らせるか。どんな人に来てほしいか。どんなチラシを何枚作り、どこへどのように配るか。

● **当日の運営方法**
準備の開始から調理、片付けまでの段取り。食事提供以外の企画。役割分担。総括と次回への活用。

信州こども食堂ネットワーク保険加入について

NPOホットライン信州では、こども食堂の活動への参加者を対象とした賠償責任保険と障害保険に加入しました。対象者は、信州こども食堂への参加者(子ども、親、スタッフボランティアなど)が対象となります。

保険内容

賠償責任保険	身体財物	2億円
	管理財物	50万円
	人格権侵害	50万円
	事故対応費用(1事故・保険対応中)	500万円
	見舞費用 死亡	50万円
	後遺障害	2万円~50万円
入院日数に応じて2~10万円/通院日数に応じて1~5万円		
傷害保険	死亡保険金額	500万円
	後遺障害保険金額	500万円~20万円
	入院保険金額	5,000円
	手術保険金額	入院保険日額の5、10倍
通院保険日額	5,000円	

こども食堂に参加・活動していて・・・



怪我をしたとき、させたとき 食中毒にかかったとき



施設・他人の財物を破損したとき 死亡・後遺障害 著作権、プライバシーの侵害、セクハラなど

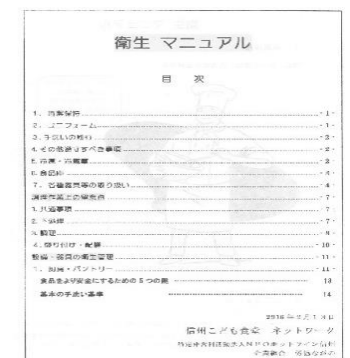
保険の適用される条件として、信州こども食堂として活動していること
・開催の事前報告必須(当法人一覧表に明記)、チラシに「共催 NPOホットライン信州」だと完璧
・開催後の人数報告必須(子供・大人・スタッフ)、報告書や写真があれば完璧
・信州こども食堂ネットワークでの「各こども食堂」への参加と食材・機材等の運搬などとなります。

子ども支援リレーの充実
「子ども用品・服などの無料提供と食品・子ども用品寄贈募集受付の検討」

《重要》 安全に細心の注意を！

こども食堂をはじめめるには、特別な資格はいりませんし、届け出を出す必要はありませんが、食べものを提供する以上、その安全には細心の注意が必要です。

信州こども食堂ネットワークでは、調理上の注意などをまとめた「衛生マニュアル」を備えています。



不測の事態に備えた保険加入は「ホットライン信州」への加入で大丈夫です。

信州こども食堂ネットワークが応援します

運営方法はもちろん、県民や協力企業などからご提供いただいたお米・食材や子ども用品の分配、チラシの作成とNPOホットライン信州ホームページでの周知、「信州こども食堂ネットワーク便り」の編集、指導員・専門家の派遣など、「なにかをしたい」みなさんを応援しています

コロナで生活困る子育て世帯支援

新型コロナウイルスの影響で収入が減るなどして生活に困っている子育て世帯を支援しようと、長野市で、NPOが弁当やお菓子などを無料で配りました。これは子どもたちに食事などの支援をしている松本市のNPO「ホットライン信州」が行ったものです。

12日は長野市安茂里に設けられた会場に子どもを連れた家族が大勢訪れ、ボランティアが白菜などの野菜や米、それにりんごを手渡したほか、クリスマス控えて子どもたちにはお菓子をあげていました。

また今回は、信州産の牛肉を使ったすき焼き弁当も用意され、訪れた人たちにふるまわれました。

新型コロナウイルスの影響が続く中、このNPOでは収入が減るなどして生活に困っている子育て世帯を支援しようと、農家などから食材の寄付を募ってきたということです。子ども2人と訪れた長野市の30代の女性は、「新型コロナウイルスの影響で家庭内の収入が減り食費を削っていました。子どもが食べ盛りになってきたので本当にありがたいです」と話していました。

「ホットライン信州」の青木正照専務理事は「新型コロナウイルスに負けないという気持ちを持って新年を迎えてもらいたい」と話していました。この取り組みは毎月19日にも長野市ふれあい福祉センターで午前11時から行われる予定です。



コロナ禍の生活を支援 弁当など無料配布

訪れた人



コロナ禍の生活を支援 弁当など無料配布



コロナ禍の生活を支援 弁当など無料配布

NPO「ホットライン信州」
コロナ禍で生活困窮する子育て世帯支援へ
農家などから食材の寄付募る



コロナ禍の生活を支援 弁当など無料配布

NPO「ホットライン信州」
コロナ禍で生活困窮する子育て世帯支援へ
農家などから食材の寄付募る



コロナ禍の生活を支援 弁当など無料配布

信濃毎日新聞 2020年(令和2年)12月13日 日曜日

すき焼き弁当で年の瀬を元気に

すき焼き弁当を受け取る親子連れ

長野で「こども食堂」親子らに振る舞う



NPO法人ホットライン信州(松本市)は12日、「こども食堂」を長野市安茂里の安茂里公民館で開き、県産ブランド牛肉「信州プレミアム牛肉」を使ったすき焼き弁当約200個を振る舞った。新型コロナウイルス禍で気持ちが沈みがちな年の瀬に、ちょっとしたせいたくな弁当を食べて元気を出してほしいとの願いを込めた。

信州プレミアム牛肉は風味に優れ、口当たりが柔らかいとされる。約100gの肉を購入。一部を使い、ハクサイ、シイタケ、ニンジン、焼き豆腐、こんにやくと甘辛く煮てご飯に載せた。午前11時に受け付けを始める親子連れが訪れ、菓子やジュース、カップ麺の袋詰めと一緒に受け取った。近所に住む水畑麻里恵さん(32)は「天の収入が減り、食費を切り詰めていた。とても助かります」。ホットライン信州によると、信州プレミアム牛肉の残りは市ふれあい福祉センターで19日に予定するこども食堂で「肉巻きおにぎり」にして提供する。



コロナ禍の生活を支援 弁当など無料配布



コロナ禍の生活を支援 弁当など無料配布

生活困窮の世帯に年越しそば提供

12月31日 15時44分

大みそかの31日、長野県松本市のNPOが、新型コロナウイルスの影響で収入が減って生活に困っている、子育て世帯などに年越しそばを無料で提供しました。

これは、子どもたちに食事などの支援をしている松本市のNPO「ホットライン信州」が行いました。

市内に設けられた会場には、新型コロナの影響で収入が減った世帯を含む多くの親子が訪れ、ボランティアによって年越しそばが無料で提供されたほか、コメやお菓子などもふるまわれました。

会場にはチョコフォンデュも用意され、子どもたちはチョコが付いたいちごを楽しそうに食べていました。

松本市の9歳の女の子は「そばをもらったので家族で楽しく食べたいです。ことしは学校が少なくて寂しかったので、来年は新型コロナウイルスがなくなっほしいです」と話していました。

松本市の30代の男性は「うちは子どもが多いので、仕事が新型コロナウイルスの影響を受ける中、このようなイベントは助かります」と話していました。

「ホットライン信州」の青木正照専務理事は「家族で楽しく正月を迎えてほしいという気持ちで開催しました。来年は新型コロナウイルスに打ち勝つ一年になってほしいです」と話していました。





には参加しない。今年の文化祭が最後の発表舞台になる予定で、今井さんは「これからも練習をして、新1年生にもダブルダッチの魅力を伝えたい」と話していた。

松本の公園で「こども食堂」

NPOホットライン信州(NPO法人ホットライン信州(松本市))は27日、子ども



た。小学生と保育園児の子ども3人や妻と訪れた市内の男性(41)は「ここに来れば集まった子ども同士で遊べる。親子で集うコミュニケーションにもなり、ありがたい」と話した。

ホットライン信州は4月1日午後5時から同公園近くで食品を配る。コロナ禍で困窮する学生も参加でき、子どもと学生は無料。大人は3000円程度のカンパが必要。

牛丼などの食事が振る舞われた「こども食堂」

松本駅前記念公園で開いた。コロナ禍で気持ち沈んだ子どもを元気づける狙いもあり、約60人の親子が訪れた。企業や個人から寄付されたカップラーメンや菓子といった食品を配ったほか、黒毛和牛などの食材を使った牛丼の振る舞いも。衣類やランドセルなど支援物資の提供もあった。



子供スタッフに食品を手渡す菊本さん

第一生命保険松本支社(松本市深志)は4日、各地のこども食堂が加盟する「信州こども食堂ネットワーク」に果物の缶詰などを寄贈した。地域貢献の取り組みとして、松本市本庄1のビルで開催されたこども食堂に社員4人が訪れ、ミカンや白桃など5種類の計94缶を届け、社内の健康増進プログラムを活用して支社

まつもと

こども食堂に缶詰寄贈

第一生命松本支社 準備も手伝う

抗菌コーティングを施設内に塗布

ケアホーム今井

松本市今井の老人ホーム・ケアホーム今井は、このほど、新型コロナウイルスの感染防止対策として、抗ウイルス作用のある光触媒コーティングを施設内に施工した。光触媒の働きでウイルスを除去したり繁殖を抑えたりする効果があるという、接触による感染防止を期待する。

約30人が歩いた歩数を換算し、基金から得られた3万3000円を缶詰の購入費に充てた。併せて有志が家庭から持ち寄った菓子や



贈呈式で代表のこどもスタッフへ寄託品を託す青木会長(左)

松本中央ライオンズクラブ(LC)、青木まゆみ会長は10日、松本市島立の県松本合同庁舎で、家庭で余った食料品などを寄せてもらう「フードドライブ」を開いた。地域住民や企業関係者らが次々と訪れて食料品が寄せられ、会場には

善意の食品・衣類1トに

松本中央LC 松本でフードドライブ

寄託品の段ボール箱の山もできた。その場で必要な人たちに配ることもして、家族連れなどが並んで受け取っていた。

会場で贈呈式も行い、青木会長がホットライン信州のこども食堂を手伝うこどもスタッフ2人に、寄託品の箱を手渡し思いを託した。こどもスタッフからは感謝状が贈られるなど、好評だった。



来場者に明るく対応するスタッフら

「0円弁当」「0円スーパー」

上田市の食事や50種類以上の食料品提供

上田市の「0円弁当」「0円スーパー」は、生活に困難を感じている人などに食事や食料品を渡す「0円弁当」「0円スーパー」の取り組みを初めて行った。

黒毛和牛の焼肉弁当70食とような重30食は事前に電話で予約を受け付け。同法人のホールには県内外の協賛企業14社が提供した米や野菜、果物、菓子など50種以上の食料品をすらいと並べた。

弁当は地元農家の提供した米を使用し、同法人のパン工房からなるしえで調理。訪れた人は必要な食料品を選び、袋いっぱい詰めて持ち帰った。

同法人は2018年からこどもレストランを開設しており、新型コロナウイルスの影響で職失つたり収入が減少して生活に困窮しているひとり親世帯や独居高齢者、外国籍住民ら支援が必要なのは多いと判断。チラシを公共施設の窓口にも置いてもらったり、同法人が運営する障害福祉サービス事業所の利用者が地元住宅に手配りして周知した。

この日は115人が来場。3歳の長女を連れて訪れた市内の30代女性は家族6人分の弁当も近づくというボランティア活動をさせていたと話していた。



4月21日(水)中野市へ1トン
4月22日(木)長野市へ1トンのお米 合計 2トン

コロナにより、大変な家庭・学生の力になりたいという想いでJA中央会さまより、お米の御寄贈を頂きました。

すべて精米して学生・家庭へ配りやすいようにと2キロの袋に分けるなど御配慮を頂き、1000袋の準備から運搬まで行って頂きました。学生・子ども食堂の支援で大切に使用させて頂きます。ありがとうございました🙏。

信濃毎日新聞 2021年4月23日

須坂長野東インター北側の開発計画について須坂市などが開いた説明会11月22日夜

倉庫前で伝田さん(右)に米袋を手渡す伊藤会長



県農協中央会(長野市)は22日、信州子ども食堂ネットワーク(事務局・松本市)に県産米2トンを寄贈した。米は

学生支援へ 県産米2トン寄贈

県農協中央会(長野市)は

精米済みで、2キログラムずつ500袋に小分けした。新型コロナウイルスウィルス下で生活に困っている学生向けに5月8日に県庁で県が開く食料配布会や、県内の子ども食堂の運営に活用してもらう。

同会の伊藤茂会長が、長野市若里の信州プロレス事務所敷地内にある同ネットワーク倉庫を訪ねた。伊藤会長は「バイトや親からの仕送りが減っている」と話し、子どもに活用してほしい」と話し、同市周辺で配る1トンの一部分を担当者の伝田清さん(46)に手渡した。あと1トンは中野市にある同ネットワークの拠点に送った。

同ネットワークは25日午後1〜3時、倉庫前で「フードドライブ」を開く。賞味期限が1カ月以上残るインスタント食品に加え、学用品やおむつなどを募る。倉庫は冷蔵できるため、他のフードドライブでは断られることが多い生鮮食品も持ち込める。問い合わせは同ネットワーク(☎090・78034・1228)へ。



★ 若者・学校 Youth

企業も協賛 支援の輪広がる

長らくコロナ禍で仕送りやアルバイトが減って経済的に困窮し、帰省も難しく、授業もオンラインが多いなどで孤立感を抱える学生への支援が課題になっている。こうした中、主に貧困世帯の子どもに食事を提供している各地の「子ども食堂」が、支援の対象を大学生などにも広げ始め、企業も協賛するなど支援の輪が広がりつつある。(佐竹伸子)



子ども食堂で提供されたうどんを食べるベトナムからの留学生

困窮する留学生にも

3人は「どうしても日本で学びたい」とコロナ禍のさなかの昨秋来日し、今春、信州大に入学。生活費を賄うためコンビニやレストランでアルバイトをしている。「もっと働きたいがオーダーがなく、週1〜2回しかシフトに入ってもらえない」と嘆く。

グエン・アンさんは、長野銀行からの物資の贈呈式で、学生代表として感謝状を読み上げた。今後は都合が合えば、子ども食堂などのボランティアに関わりたいという。

子ども食堂は物資を提供するだけでなく、居場所や交流、困った時の身近な相談先にもなる。青木専務理事は「コロナ禍が長引き、厳しい状況が学生にもポディーブローのようにじわじわと効いてきている。感染拡大が収束するまでは支援を続けたい」とする。

「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」は毎月第4土曜日に開催。詳細はホームページまたはフェイスブック(「ホットライン信州」で検索)に。電話相談は☎0120・914・994

松本市に拠点を置くNPO法人「ホットライン信州」が、同市や長野市などで運営する「信州子ども食堂」は今年1月から、学生の支援に取り組んでいる。同法人が行う24時間の電話相談に「学生から『バイトが減り収入がない。食材だけでも、もらえたら』という声が寄せられるようになった」(青木正照専務理事)ためだ。

同法人はこれまでも、県内外の企業から寄付された食材などを、子ども食堂に活用してきた。学生支援の動きに4月、県農協中央会(長野市)から米2トンを贈られたほか、長野銀行(松本市)も職員らが集めた乾麺やレトルト食品など701点を寄贈した。ほかにも多くの企業や個人から、続々と物資が集まっている。

4月24日に松本市駅前記念公園などで開いた「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」でも、これらの食材を配った。通常大人は300円のカンパが必要だが、学生は無料に。市民約70人が訪れ、このうち学生は7人。松本での食材配布は特に留学生の来場が目立つといい、この日もベトナムからの留学生、グエン・レ・ユイ・アン(20)さんら3人が初めて訪れた。

ボランティアが振る舞う屋敷の手打ちうどんを食べ、グエン・ティ・トゥイ・ユーンさん(21)、ホアン・ザ・バオさん(20)も「おいしい」と笑顔に。毎日自炊しているが「米や野菜、鶏肉など最低限のものしか買えない。食品をもらえるのは、すごくありがたい」と喜んだ。



長野銀行が職員から集めた食材を寄付した贈呈式4月23日本店

こども食堂、行ったことがありますか？



教えて!

だれでも参加し交流できる、地域の居場所。

長野県内では約100カ所で活動。

Q こども食堂ってどんな場所？ 子どもはだれでも行けるの？

A 子どもに限らず、だれでも参加できます。子どもを中心に、大人やお年寄りが大家族のように集まり、子どもは無料、大人は1人300円くらいの協力を支払って食事の提供を受けます。こども食堂は学校でも家庭でもない、地域みんなの居場所。「楽しくに

ぎやかに、おいしくいただけます」と感想を話す人もいます。

Q いつごろできたの？
A 2012年ごろ、東京の八百屋さんが、家でごはんを1人で食べる「孤食」の子どもたちに食事をふるまう場として始めました。その後、全国に広まり、長野県では16年1月、私たちが長野県で「信州こども食堂」を初めて開

みなさんは「こども食堂」に行ったことはありますか。公民館などで子どもたちに安く食事を提供し、交流も深める取り組みです。「信州こども食堂ネットワーク」によると、ネットワークが活動を支援する県内のこども食堂は約100カ所あります。新型コロナウイルスの感染拡大で、大勢でぎやかに食事をするのが難しい中、地域の大人たちが工夫して活動を続けています。信州こども食堂ネットワーク事務局長の青木正照さん(71)＝松本市＝に現状と課題を聞きました。

教えてくれたのは

信州こども食堂ネットワーク事務局長の 青木 正照さん (松本市)



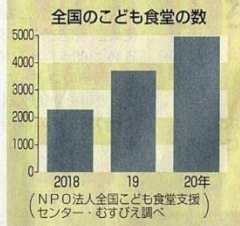
「最近のこども食堂は、弁当や食材を配るのが活動の中心。にぎやかに食事ができる状況に早く戻してほしい」と話す青木正照さん

1949年、松本市出身。大手電機メーカーに入社し、労働組合の活動にも参加。地域の労働組合でつくる「連合長野」の事務局長も務めました。退任後の2011年に生活に困っている人を助けるNPO法人「ホットライン信州」を発足させ、電話相談などに応じる中で、16年1月にこども食堂を始めました。同年2月には「信州こども食堂ネットワーク」を立ち上げ、各地のこども食堂の運営を受けています。

きました。すると、県内各地から見学者が訪れ、2年後には50カ所になりました。今は約100カ所で仲間たちが運営しています。

Q 食事以外はどんなことをしているの？
A 子ども同士で遊んだり、勉強を教えたりとさまざまな形で交流しています。子育てや仕事に追われるお母さんにとっては、ほっとひと息つける場所です。子育てや生活の悩みも相談します。子どもにとっても、いろいろな大人と接することでコミュニケーション力や生きる力が身に付く。わいわいがやがやと楽しいこども食堂ですが、新型コロナウイルスの感染拡大で様子は一変しました。

県内のこども食堂 コロナ下の取り組み



6月19日に長野市で行われた「信州こども食堂」では、手分けして弁当を作り(写真上)、集まった人に配った。子ども向けの学習会(写真右)も行われた

問い合わせはNPO法人ホットライン信州 0120-914-994
信州こども食堂ネットワークの情報 <http://hotline-shinshu.jimdo.com/>

新型コロナの感染を防ぐため活動に工夫。

子どもが主役、大人がサポート。

Q 昨年からコロナの流行でこども食堂の活動はどう変わったの？
A にぎやかに食事を楽しむこども食堂は「密」になりがちです。大きな鍋や大皿の料理を各自でよそうスタイルは感染拡大にもつながりかねません。昨年の春ごろは活動の中止が相次ぎました。しかし、再開を望む声を受け、

弁当や食材などを駐車場に配る「ドライブスルー」や、屋外で弁当を食べる「青空こども食堂」などを開く動きが出てきました。少人数でのパレンアート作りや紙芝居の上演、オンラインで各家庭を結んだパフェ作りなども行われました。感染予防に気を付けながら、子どもたちとつながるためには何でもやる。そんなみなさん

の意欲が感じられます。
Q 運営資金はどうやって確保しているの？
A 市民や企業からの寄付、行政の助成金などでまかなっています。こども食堂を支援する「信州こども食堂ネットワーク」は、寄付された食材を分け、運営方法の助言もしています。もしもに備えた保険にも入ってもらいます。

Q 今後の目標は？
A 長野県には約370の小学校があります。子どもたちが歩いて参加できるように、370の学区全てにこども食堂を作りたいです。
Q 子どもにもできることはあるのかな。
A 子どものスタッフが、会場作りや調理などを手伝うこども食堂もあります。活動を盛り上げようとして紙芝居を作ろうとする人もいます。子どもが主役となり大人がサポートするのが理想です。みなさんぜひ、こども食堂に関わってみてください。

6月29日(金) 信濃毎日新聞

市民タイムス 令和3年(2021年)7月11日 日曜日



自販機の前でホットライン信州のスタッフの子どもから記念の花束を受け取る長野牛乳の従業員女性

長野に子ども食堂支援自販機 売り上げの一部を寄付

NPO法人ホットライン信州(松本市)とアイドードリンク(松本市)とアイドードリンク機を、長野市内に初めて設置した。今後、全県に設置を目指す。最初の1台は長野牛乳の事務所前に置いた。

アイドードリンクが売り上げの1%、長野牛乳が販売手数料の1%を贈る。自販機にはかわいらしい男の子や女の子の絵が描かれている。長野牛乳は、牛乳を子ども食堂に寄付している縁で自販機を設置した。

ホットライン信州は、県内約100カ所の子ども食堂を支援する「信州こども食堂ネットワーク」(松本市)を運営。寄付金は食料の運送費用に充てるといふ。アイドードリンク長野オフィスの小松寛之さん(48)は「少しでも社会貢献につなげたい」と話した。

子供たちに手作り弁当



庄内地区 実行委が550食配布

対策で気持ちが沈みがちな子供たちを元気づけようと、商工会が作業は予定より早く進んだ。並柳工会の大嶋健資会長(66)は「地域のまとまりのよさが出た」と大勢の協力を地区ぐるみで取り組んだ。高級食材の信州サーモンと供に人気の山賊焼きをメニューに選んで、朝から難を乗り越えていくら約50人が庄内民館に集まり、調理室や商工会員のキッチンカーで準備した。昼食に合わせて仕上げ、事前に把握した希望者数に応

松本市庄内地区の並柳商工会と子ども会育成会、NPOホットライン信州が主催する実行委員会は10日、地区の子供たちに、信州サーモンと山賊焼きの手作り弁当を準備した。昼食に合わせて仕上げ、事前に把握した希望者数に応



8月28日(土)松本市の「信州子ども食堂 in 学び塾」には、新型コロナウイルス…長野県圏域警戒感染レベルが5の中、感染対策を徹底し、残暑厳しい中、子ども32人含む69名が訪れ、美味しいお弁当と学びに大喜び！

市民タイムス 令和3年(2021年)8月29日

ドローン操縦 宙高く 松本駅前 で 子供が体験



代わる代わるドローンを飛ばす子供たち

「信州子ども食堂 in 学び塾」は、nまつもと学び塾(機)の飛行体験会を実施した。新型コロナウイルスの飛行体験会を受け、松本市本庄1の松本駅前記念公園で、ドローン(小型無人機)の飛行体験会を実施した。新型コロナウイルスの飛行体験会を受け、松本市本庄1の松本駅前記念公園で、ドローン(小型無人機)の飛行体験会を実施した。新型コロナウイルスの飛行体験会を受け、松本市本庄1の松本駅前記念公園で、ドローン(小型無人機)の飛行体験会を実施した。

「信州子ども食堂 in 学び塾」は、nまつもと学び塾(機)の飛行体験会を実施した。新型コロナウイルスの飛行体験会を受け、松本市本庄1の松本駅前記念公園で、ドローン(小型無人機)の飛行体験会を実施した。新型コロナウイルスの飛行体験会を受け、松本市本庄1の松本駅前記念公園で、ドローン(小型無人機)の飛行体験会を実施した。

(有賀文香)

信濃毎日新聞 2021年8月29日(日)

国際ソロプチミスト松本様からホットライン信州に 30万円のご寄付を戴きました

8月28日(土)、国際ソロプチミスト松本様から、昨今の新型コロナウイルスの感染が猛威を振るう中、生活困窮している、子どもや家族を応援している、当法人「NPO ホットライン信州」に30万円のご寄付をいただきました。国際ソロプチミスト松本本郷由美子会長他役員の方からは、「子どもや家族のために、引き続き頑張って欲しい」との熱い思いを託されました。各地の信州子ども食堂ネットワークを通じて、支援活動を展開していきます。ありがとうございました。

子ども食堂へ30万円寄付

ソロプチミスト松本ホットライン信州に

松本市の女性奉仕団体・国際ソロプチミスト松本は28日、同市寿北5のNPO法人・ホットライン信州に30万円を寄付した。新型コロナウイルス禍で開催できなかった対面での例会の費用を「女性と子供のために役立てて」と寄せた。

ホットライン信州が運営する「信州子ども食堂 in 学び塾」を訪れ、本郷ゆみ子会長が学び塾の子供運営スタッフに手渡した。寄付は会員の提案を受けて



寄付に対する感謝状を受け取る本郷会長(中央右)ら

全会一致で決めたい「10カ所以上でサポートしている全県のこと」と激励した。ホットライン信州の青木正照専務理事は「感謝した。」と感謝した。(有賀文香)

新型コロナ下 困窮家庭支援

松本のNPO 弁当や生活用品配布

県内各地の子ども食堂運営に携わるNPO法人ホットライン信州(松本市)は28日、新型コロナウイルス感染拡大の影響で困窮する家庭を支援しようと、松本市内で冷凍した弁当や生活用品を配った。市内外から親子連れや高齢者ら70人ほどが会場を訪れ、次々に受け取った。

ホットライン信州が支援する松本駅近くの子ども食堂を訪れた人たちが、スタッフから弁当やレトルト食品、野菜などを受け取った。市内の70代女性は「コロナ下でパートなどの仕事が減り、金だけでは生活が苦しい。(支援は)ありがたい」と感謝した。

ホットライン信州によると、新型コロナの影響で子ども食堂では多くの人が屋内に集まる調理や食事が難しくなっている。専務理事の青木正照さん(71)は「コロナ下の活動は感染対策との両立が大変だが、困っている人の支援は続けたい」と話していた。



訪れた人に食料品や生活用品を配るNPOスタッフ(右)

子どもの感染拡大で苦慮続く『こども食堂』 中止も検討 収入減、遊び場も限られ…「切実な声に応えたい」

8/28(土) 19:57 配信

NBS 長野放送



28日、長野県松本市で恒例の「こども食堂」のイベントが開かれました。ニーズはあるものの、子どもへの感染拡大が懸念されているため、主催者側は中止も検討しましたが、切実な声に応えたいと開催に踏み切りました。芝生の上でスイカ割りを楽しむ子どもたち。松本市で開かれた「信州こども食堂」のイベントです。経済的に困窮する家庭の支援や居場所づくりを目的にNPO法人が月2回ほど、食品の配布やイベントを行っています。

コロナ禍を受けて、食事の提供は弁当のみで、イベントも屋外での密を避けたものに限定されています。松本地域は感染拡大が続いており、中止も検討されましたが、コロナ禍で家庭の収入に落ち込んだり、こどもの遊び場が限られたりしており、「ニーズは高い」として感染対策をしながら開催することになりました。信州こども食堂ネットワーク 青木正照事務局長：「こういう状況になればなんと、何とかしてほしいという声、切実な訴えが届く。何とか応えていきたい」県内には100以上、こども食堂の活動をするグループがありますが、感染拡大で開催を断念しているところもあるということです。



8月30日(月)夕方、NBSテレビの特集で「ニーズ上昇も・・・子どもの感染増で苦慮」「悩みながら継続～コロナ禍の“こども食”」と題して、信州こども食堂ネットワークの「信州こども食堂 in まつもと学び塾」と長野市三本柳の「にっこりひろば」のこども食堂が放映されました👏。



映像が YouTube で観える



2021年3月30日 信濃毎日新聞

新総裁での自民行方 信州注視

次期首相の座を巡り争った自民党総裁選が29日、終わった。「新自由主義の転換」「原発の新增設はしない」など、安倍・菅政権の路線からの脱却を図ろうとする訴えも耳目を集めた。新総裁に選ばれた岸田文雄前政調会長はこの日、「生まれ変わった自民党をしっかりと国民に示す」と言った。エネルギー、困窮世帯支援、外交・防衛に関心を寄せる県民は、政権政党の行方を注視している。 【1面参照】

困窮者支援公助に期待 自衛隊憲法明記いかに エネ問題で論戦「変化」



「以前からの意欲を成就さの再支給などの訴えがあった。NPO法人ホットライン信州専任理事、青木正照さん(71)は松本市では午後3時すぎ、企業から寄付を受け、食糧や衛生用品を保管するコンテナで岸田氏選出を告げるスマートフォンに目を落しは「公助」だ」との思いを強くした。

「憲法9条への自衛隊明記などにより取り組むのか。自衛隊の活動を民間の立場で支援する県防衛協会会長を約10年務める中嶋君忠さん(81)は、長野市では、岸田氏の姿勢を見極めるつもりだ。

海洋進出を強める中国、ミ



生活困窮・介護・子育て…
悩み相談 上田に窓口

まると福祉社会とNPO法人ホットライン信州

上田市長のまると福祉社会ではかねて支援者から相談があり、職員が対応してきた。信州(松本市)と連携し、新小室野夫理事による、コロナ禍で食糧や生活物資を配った困っている人や介護、子育てに悩んでいる人向けの相談窓口を開設した。同市生田で運営する障害福祉サービス事業所「こころのつなげ」に専用部署を用意、県内で8カ所目、東信地方では初めてという対応をする。橋詰さんは「生きる勇気や希望を持てるように支えたい」。小室理事は「親身に寄り添い、解決へ道筋を立てられるようにしたい」と話している。

平日午前8時半～午後5時半。電話(26)268・43・2000)でも対応する。

2021年9月17日 信濃毎日新聞

信州子ども食堂の広がり!!

～県内115ヶ所 約94,000名参加～



信州子ども食堂ネットワーク

なんでも相談 0120-914-994